

■令和3年度 北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会

第4回 検討委員会 議事次第

日時：令和3年10月27日
19時00分～20時45分
場所：北川小中学校
多目的ホール
(オンラインを併用)

1. 開会

2. 前回内容の確認

資料1

3. 社会とつながる学びの空間や複合化に向けて

- ・ワークショップ及びアンケート報告と方向性
- ・サウンディングの実施について

資料2

資料3－1、3－2

4. 就学前教育のあり方について

- ・北川村の教育の方向性
- ・認定こども園の概要

資料4－1

資料4－2

5. 次回の検討委員会について

配布資料 資料1	第3回検討委員会議事録
資料2	ワークショップ・住民アンケート報告、今後の方向性
資料3－1	サウンディング実施要領案
資料3－2	サウンディング概要
資料4－1	北川村の教育の方向性
資料4－2	認定こども園の概要

第 3 回北川村文教施設・子育て環境等整備事業基本計画検討委員会 議事録

開催日時	令和 3 年 1 0 年 1 3 日（水） 1 9 : 0 0 ~ 2 0 : 4 5
開催場所	北川村立北川小学校 多目的ホール（オンライン併用）
出席者	■ 森本委員、小笠原委員、田中委員、山崎（美）委員、山崎（和）委員、小松委員、阿部委員、田所委員、弘田委員 - 永野委員長、伊庭委員、倉斗委員及び中山委員（リモート参加） 計 1 3 名 ■ アドバイザー 柳川アドバイザー ■ GPMO 湯川 ■ Founding Base 真鍋 ■ 事務局 野見山副村長、西岡教育次長、百々次長補佐、溝渕主幹
議題	（１）開会 （２）前回内容の確認 （３）ワークショップのご意見に見る北川っ子の現状 （４）北川村における教育の方向性について ・本村の教育の方向性 ・企業と連携した取り組み（公営塾：株式会社 Funding Base より） （５）今後のスケジュールについて ・PPP/PFI に係る検討スケジュール（株式会社 GPMO より） ・次回の日程について
配布資料	・第 2 回検討委員会議事録【資料 1】 ・基本計画報告書 目次（修正案）【資料 2】 ・北川っ子の現状について～地域・教職員ワークショップからの分析～【資料 3】 ・北川村における教育の方向性【資料 4】 ・企業と連携した取り組み Founding Base 資料【資料 5】 ・PPP/PFI に係る検討スケジュール案【資料 6】

議事経過	(1) 開会 【事務局】 ・事務局挨拶
議事経過	(2) <u>前回内容の確認について（第2回検討委員会議事録【資料1】・基本計画報告書 目次（修正案）【資料2】）</u> 【事務局】 ・【資料1】【資料2】に基づいて説明 ・目次（修正案）について委員了承
議事経過	(3) <u>ワークショップのご意見に見る北川っ子の現状（北川っ子の現状について～地域・教職員ワークショップからの分析～【資料3】）</u> 【柳川アドバイザー】 ・【資料3】を基に説明 【山崎美砂委員】 ・北川の子は、素直で真面目で、人懐っこい部分や人を信じている部分など良さがある。課題としては、北川村のような良い環境ではなく、不慣れな環境になった場合に、自分の力が発揮できないことや人見知りになってしまう部分もあると感じている。 ・自分を小さい頃から知っている大人たちに対して恥ずかしがったりする部分もあるので、そういったものを克服できるような、チャレンジ精神を養う環境を整えられたらと考えている。 【山崎和美委員】 ・中学生の時期にでてくる課題において、乳幼児期に何か対応できることがあれば、保小中一体化は意味があると考えている。 【伊庭委員】 ・学童保育について何か課題はないか。 【柳川アドバイザー】 ・ワークショップではそういった課題はまだでていない。小規模多機能施設「ゆずの花」という場所は、子どもの居場所になっている。また、公営塾の存在など、学校以外に子どもの居場所があることは重要ではないかと考えている。 【伊庭委員】 ・学童保育も一体的に考えていかないといけないと考えている。 ・私の50年前の和歌山県での経験であるが、個人図書館の取り組み（大人の生き様や年上の人間が生徒に話をするなど）は意味があったと感じている。そういった取り組みを企画・運営するコーディネーターの存在は重要である。

	【事務局】 ・現在、放課後こども教室においては20名ほどが参加している。また、学カステップアップ教室も村民会館で開催していて、そちらにも自分の学年の対象日に児童が参加している。子ども会の卓球やバレーに所属している子は、週2～3回体育館の方で活動しており、これが放課後の小学生の過ごし方になる。中学生公営塾は7月から夜間に開催している。活動などのコーディネーターについては配置に向けて検討していく。 【倉斗委員】 ・小規模校では、地域との繋がりが強くて、その地域の活動が伝統的になったりしている事例は多い。一人の子どもに関わる地域の方、大人の数は都市部よりも多いのではないかと考えている。 ・先生方が気になっている集団行動などの能力の部分については、多様性や個別最適といった言葉があるように、国際的に活躍できる人材を育てるような観点もある。そういう点では、北川村の子どもたちの人懐っこさなど素晴らしいと思っていて、北川村のブランド・特性としてあるのではないかと感じている。 【永野委員】 ・中山間地域の教育の現状をみてきた経験から、子どもは素直に育っているが自分のことを表現しながらコミュニケーションを取ることがなかなかできないという似たような中山間地域の子ども達の実態がある。そのような環境の中で、学校でどのように育てていくのが先生方の悩みだと認識している。 ・一旦、教育課程の網を外して、多角的に教育を捉えてもいいのではないかと。もっと言えば、学習指導要領に基づかず、中山間地域なりの教育のあり方を検討して、今ある常識を外して中山間地域の子ども達の課題解決を図るようなチャレンジをしていただきたいと考えている。 【事務局】 ・北川学を本格的に初めて3年目になるが、いわゆる地域学としての学びの他、企業と連携した様々な活動などを通して、北川村ならではの学びの有り様を構築していきたいと考えている。 【小笠原委員】 ・4月28日に開催された保小中教職員が参加されたワークショップでされた意見「ICTの活用が進んでいるからこそ、子どもたち同士の繋がりや本物に触れるという体験を大切にしてもらいたい」という意見に注目している。自然に囲まれている、一次産業があるのは北川村「だからこそ」である。少人数の環境などは高知市とは違う環境に恵まれている。そういう点が保小中教職員ワークショップででたのではないかと理解している。
--	--

議事経過	(4) <u>北川村における教育の方向性について（北川村における教育の方向性【資料4】・企業と連携した取り組み Founding Base 資料【資料5】）</u> 【事務局】 ・【資料4】を基に説明 【Founding Base 株式会社】 ・【資料5】を基に説明 【小笠原委員】 ・質問であるが、北川村子育て教育ビジョンにおいて、Founding Base の提案にある農業プロジェクトがどのように関係し、位置付けられているのか。
------	---

【事務局】

- ・ビジョンには、ファウンディングベースさんから今回御提案いただいた事業は現在明確には位置付けられていない。基本計画や今後改定していくビジョンの中に北川村ならではの特色ある教育の内容として盛り込んでいくことを見据えて御提案いただいたもの。ただ、全く関係ないわけではなく、北川学でも現在小4と中2がゆずの学習をしていたり、今年度からファウンディングベースさんに中学生向けの公設公営塾を運営していただいたり、何よりも村の総合戦略でゆず農家の担い手育成や産業化が謳われている中で、教育的な側面からも支えていかなければならないという観点も意識して御提案いただいたものであり、今後の改定に向けて検討していきたいと考えている。

【小笠原委員】

- ・基本計画を検討している中で、今回御提案いただいた農業プロジェクトの目的や目標については北川村の農業プロジェクトとしてはトーンが低いのではないかと。本村の実態や総合戦略の方向性も踏まえて基本計画を検討しているという側面もあることから、今後提案をいただければありがたい。

【中山委員】

- ・小1プロブレムについて、いま具体的に現れている問題などがあれば教えてほしい。また、保育所は家庭で保育できない子どもを受け入れる施設であり公的にサポートできるが、保護者が就労していなくて家庭にいる場合の子のサポートは現状ではどうなっているのか。

【事務局】

- ・小1プロブレムについては、近年小学校へは5名ほどの入学になっているが、教職員が温かく迎え入れて、教職員同士の連携は具体的に進んでいるので、現在はそこまで問題は少なくなってきたと認識している。
- ・保育については待機児童なく6ヶ月、1年から対象の方を預かっていると把握している。

【山崎美砂委員】

- ・スタートプログラムを実施していく中で、入学後徐々に子どもたちが学校生活に慣れてくると考えている。

【山崎和美委員】

- ・保護者のみなさんは、お仕事に行かれる方がほとんどで子どもを預かってほしいというニーズが高い。

【中山委員】

- ・学校教育法に基づく幼稚園機能も併設することで、就労していない層（保育所の利用をしない層）にもアプローチしていくことも重要ではないか。

【伊庭委員】

- ・官民連携において雇用、教育、医療福祉、エンタメがキーワードの中で、難しいのは教育分野である。より視野の広い子どもを育てているが、逆に子ども達の中では自分を縛り付けている地域に対して嫌悪感を持ち始めるという状況もでてくるし、教育を素晴らしくすればするほど、子どもが村外へ出て行くという状況はある。そういうこともあるという認識を持って、良い教育が裏目に出ないような取り組みも必要ではないかと感じている。

議事経過	(5) <u>今後のスケジュールについて（PPP/PFIに係る検討スケジュール案【資料6】）</u> 【GPMO 湯川】 ・【資料6】に基に説明 【伊庭委員】 ・サウンディングがあることで手続きはより煩雑になってくることも想定しており、そのような中でサウンディングと公募を一緒にできないか。国土交通省の方では、民間提案を受け付けてからその後予算を取って進めていくという手法も検討されている。成功報酬型などの様々な形態もある。できるだけ簡素化した手法が重要なのではないかと考えている。北川村の場合は、事業費は大きくならないと考えているので、できるだけコストをかけないようにするのが良いと考えている。そうではないと、結局行政コストが高くなってしまって、本末転倒になってしまう。 ・また、サウンディングにおいて、ハード面は民間提案においてコスト削減をするなどある程度意味があると考えているが、ソフト面はすでに北川村で様々な取り組みを行っているので、現在行っている村の取り組みを重要視した方が良いのではないかと考えている。 【GPMO 湯川】 ・現状、DMM さんなどとの具体的な教育サービスの官民連携が進んでいるが、さらなる教育サービスについて様々な事業者から提案をもらえないかと整理しているところである。 【小笠原委員】 ・サウンディングのスケジュールを見ると、地域住民のワークショップが終わった後にサウンディングの実施結果が出ることになっているので、地域住民からすると自分たちの意見がこういった形で反映されて計画に反映されたのかがわからないのではないかと。何らかの形で地域住民にこういった内容だったのかを周知する必要があるのではないかと。 【事務局】 ・現状のスケジュールでは、おっしゃる通りであるため、全戸一斉配布や第4回目の地域住民ワークショップを開催するなど何らかの方法で地域住民のみなさんに知らせる方法を取りたいと考えている。その点については、柳川アドバイザーやGPMO様と相談しながら進めていきたい。 【田中委員】 ・ここ数年、保小中の連携は深まり、学校が活性化していると理解している。それぞれの先生が現場に出向いていただいて交流も進んでいる。北川学においても、地域住民も喜び、子どもたちも元気になっているという状態だと思っている。また、映像コンテストや新聞づくりコンクールの受賞が世間に認められたことは、学校の先生や子どもたちの努力でできたことではあるが、現状の施設の中でもできたことである。今の取り組みが良いとするならば、新しい学校をつくることでその取り組みがさらに効率的に、より良いものにならないといけないと思っており、さらなる取り組みに期待したいと思っている。
------	--

	・また、人口が減っていく中、全ての学級で複式学級になると、あまり良い印象を持っていない人もいます。その対応としてＩＣＴを活用して他の学校の子どもたちと繋がって、複式学級特有の状況を和らげていくことなどが求められる。子どもたちの教育を本当に支援していく空間を作ってもらいたいし、地域から受け入れられるエリアであり、保育や学校であるというような構想をとりまとめていただくことを期待している。
--	---

議事経過	(7) <u>次回の検討委員会について</u> 【事務局】 ・次回は10月27日（水）19時～になる。
------	---

■第2回 地域ワークショップまとめ

第2回ワークショップでは、第1回ワークショップで出てきた「村の課題」にむけて村に、学校のそばに、あったらよいと思う機能について話し合いを行った。その際に、以下の3点を大切に、アイディアを出し合った。

視点1. 子どもたちが使える場所、子どもたちにとって必要な場所

視点2. 村民みんな、多くの人に、有効に使ってもらえる場所

視点3. 村の活性化につながる場所

●施設全体のイメージ

4

0歳～100歳みんなが集える総合施設

●情報系 本やインターネットなどのメディアにふれ、情報をえられる、情報を発信する

【図書館】

→ 図書室
ラーニング・
コモンズ

- 1 ・今でも一応ある
- 3 ・子供中心
- 5 ・図書館を中心としたコミュニティー
- 4 ・－

【本を通じて、ふれあえる場所】

→ 図書室
ラーニング・
コモンズ

- 2 ・図書館 学校も一般住民 使える
- ・図書館、本屋
- ・本屋（最寄りになくて、買えない）
- ・本を教えてくれて、買ってくれる
（購入の手伝いをしてくれる）

【ネットで交流できる場所】

→ 図書室
ラーニング・
コモンズ

- 5 ・村外の人（外国を含む）とネット上で気軽に
交流できるしくみ
（村の状況、子どもの状況）
みんな同じ文化 ⇒ 村外の子とつながれる

【新しいことに

チャレンジできる場所】

すべての村民がITを学べる場所

（スマホ～パソコン～さらに）

→ 図書室
ラーニング・
コモンズ

- 2 ・IT化の必要性
（保健室、オンライン診療などへの対応）
- ・ITを勉強しよう！（高齢者も）
- ・やさしく教えてもらえる
- ・すっときける
（身内は、なかなか…、でも、他人なら）
- ・（こうした取り組みは）北部に大切

【視聴覚ルーム】

- 5 ・－

【上映会などができる場所】

- 5 ・広い部屋にスクリーン 時々上映会など

【プラネタリウム】

- 3 （・若い人どうし、語り合える場所として）

【スタジオ、カラオケ】

【短波ラジオ】 → 図書室
ラーニング・
コモンズ

【観光案内所】

→ 図書室
ラーニング・
コモンズ

【集落の情報発信基地】

【移住支援センター】

【雇用促進】

- 5 ・ -
- 5 ・ 村の住民がつくる番組、リスナーとDJがつながる
- 1 ・ ゆずジュースなど、村の特産を。
- ・ 村のお店から、おろしてもらう。
- ・ 子どもが案内できるように。
- ・ 子どもの作品（新聞など）を展示
- ・ 人と話に行く、人とつながる
- 4 ・ 交流ひろばが一緒になったような人々が集える場所
- 4 ・ 交流拠点的なものを含む
- 4 ・ - → 図書室
- 4 ・ - ラーニング・
- 5 ・ - コモンズ

●活動系 こどもたち、地域の人とふれあい、多様な体験・活動ができる

【自由度の高い調理室】

→ 家庭科室

【加工施設】

→ 高機能設備を
村民みなで
共有する有効性は
あるものの、
費用大。課題あり

【運動できる場所】 → トレーニング
コーナー

【公園】

遊びや、ほっと息抜きできる場所

→ 校庭内の
ひろば
中庭

- 4 ・ 大きい調理室と少人数で使用可能な調理室が複数あったらな…。
- オ ・ 加工施設 村の特産品を使った商品を作る誰もが使える施設。食品を作りたいと思ったときに、皆が使える加工機器がそろっている。フリーズドライの機械など子どもたちも、授業で使えるといいので、学校に近くにあるとよい
- 4 ・ 体を動かすちょっとした器具があればよい
- オ ・ 温水プール
高齢者の健康増進と子供たちの授業と併用
- 1 ・ -
- 1 ・ 学校おわって遊べる。友達といっしょに
- 5 ・ 子供が遊べる遊具
- 5 ・ 芝生広場
- 2 ・ 芝スキー
- 1 ・ 「村ピアノ」置く
- 5 ・ こどもはしんどい。楽になれる場所が必要
時間がない、何かしたいと思っているけど…
いつも一人（当たり）の重荷が大きい

総合公園みたいな場所

自然体験できる場所

→ どの程度の広さ
どの程度のもの
設備が必要か？
活用していく
運営や体制を
どうしていくか

技能を伝え、身に付けられる

山の学校

→ 他の場所との
連携の可能性は？

- 4 ・公園があればいい（総合公園的なもの）
- 4 ・健康公園
- 2 ・体験型公園 → 観光にできる
- 1 ・体験広場
- 4 ・キャンプや料理もできる、お泊り体験の場
- ・星座観察
- ・キャンプ用品 コテージ
- ・まきわり 料理も自分たちでメニューきめる
- ・災害時の炊き出しの経験にもつながる。
- ・大人から知恵を学ぶ
- ・生きる力 つながりやたくましさをつちかう。
- 3 ・技能を伝え、身に付けられる（縄結びなど）
- 3 ・防災が学べる（サバイバルキャンプが出来る）
- 4 ・川の遊び方、・山の遊び方、火たいたり

●交流系（主に村内） いつでも、何かのついでに、気軽に立ち寄れ、ふれあえる

【地域の先輩教室】

【お茶の間のような場所】

→ 適切な空間や
環境があれば、可能
ただし、運営を
だれが行うか
体制づくりが必要か？
ゆずの花との
関係性は？

【大人も子どもも自由にきて 常に交流できる場所】

【みんなの保健室】

【病院】

【老人ホーム】

→ 公的整備は
困難か…

- 5 ・地域の先輩教室
（お年寄りなど…が先生になる）
- 2 ・赤ちゃん連れから、お年寄りまで、土日
- ・お母さんたちの集まり 本をよんだり、
つながる場 → 社協でやっているけど
（つながりはつくるが）
集まる場所は、学校の方がいい。
- ・移住者の若いお母さんと、地元のお母さんと
繋げていく場所
- 3 ・大人も子どもも自由にきて、交流できる場所
- ・子どもと大人が常に、交流できる場所
- ・いつでも座れる木陰のベンチ←あちこちに
- 4 ・ほけん士を利用して、だれでも皆、気軽に
利用できる。
- 5 ・みんなの保健室（ちょっとした話ができる場所）
ジムも
- 2 ・カフェの中の保健室
- 4 ・－
- 2 ・－
- 4 ・－

●交流系（村内、村外問わず）

飲食や販売をきっかけに、ふれあい・交流がひろがる

【来てふれあえる場所】

【地域食堂】

→ 給食や
ランチルーム
との関係
運営・体制を
どうするか

【大人の食堂「あかのれん」】

【カフェ】

→ 地元の同業
どの関係を
どう考えるか
起業者さがし
を行うか、
場所貸しで
入ってもらう

【駄菓子屋】

【道の駅】

→ どの程度の
空間が適切？
観光案内と
併設か？
体制をどう
つくれるか？

- 2 ・いつでも、だれでも、あつまって、
ごはん食べれる
- 1 ・『地域』はみんなが使っていいイメージ
・行きやすそうな名前やふんいき作りを！
・放課後、子どもが立ち寄れる
- 4 ・大人の食堂 夜の食事
- 4 ・若い人の遊ぶ場所（中間層）
- 5 ・子供が運営するカフェ
（仮想通貨とオリジナル商品作り）
- 1 ・子づれで『カフェ』行きにくい
・高齢者も大人も、子どもとつながれる場所
・接点、つながりを持ちたい！
- 3 → だれがくるかわからない。
学校にあるべきもの、ない方がよいもの
（しっかり考えたい）
- 4 ・ちょっとした買い物やカフェがあればよい
（店員は高齢者も雇ってほしい）
- 4 ・（こどもが）アフター5（ファイブ）を
楽しむ場所
- 4 ・地域の旬の野菜やゆずが気軽に手に入る場所
- 4 ・ゆず販売所
- 2 ・お土産ショップ（Aコープテッタイ）
- 4 ・アンテナショップ

北川村がめざす、
社会とつながる学びの空間や複合化について

**北川村だからできる
豊かな「子育て」環境とは？**

**社会とつながる学びの空間とは？
「複合化」とは？**

- ・ 社会とつながる学びが、どうして大切？
- ・ 学校なのに、なぜ複合化？
- ・ 地域ができることは、なんだろう？

北川小・中が抱える課題、懸念・不安

→ 地域WS より

- ・ 少人数、子どもの数の減少
- ・ 学校が成り立っていくのか
- ・ 少なすぎて、友だちの関わりが不安
- ・ 大勢の友達と一緒に何かをする経験が少ない
- ・ 社会性や団体生活への不安
- ・ 競い合いや高め合いへの懸念
- ・ 外に出ると大人しく、ものおじしやすい傾向
- ・ 社会とつながってたくましくなってほしい
- ・ こどもは時間がない。
何かしたいとは思っているけど...
- ・ みんな同じ文化の集団（子も、親も）
- ・ 一人当たりの役割が大きい。重荷になりやすい。

少人数であること
への不安・懸念

多様な体験の
乏しさ
への不安・懸念

北川小・中が抱える課題、懸念・不安

→ 教職員WS より

新たな関係性・新たな体験の必要性

- | | |
|--|---|
| ・ 場面により、精神的に弱い面が見受けられる。 | → 自分から前へ出ていく力 |
| ・ 打たれ弱さが感じられる。 | → 村外や社会にでていける対応力 |
| ・ ものおじしやすい場面がある。 | → 新しい関係性をつくる力 |
| ・ 受身的で、積極性に欠ける。
(中学生になると、特に) | → 将来への目標をもち、意欲的活動する力
自己発揮できる力 |
| ・ 自分の思いや考えを言えなくなる場面があり
言葉で相手に伝えることに、苦手意識がある | → 語彙力、表現力
→ 自分たちの生活を
主体的に改善していく力
(自治活動力) |
| ・ 指示を待って行動する場合が多い。 | → 変えていく力：チャレンジ力
発想力、向上心 |

キーワード：**多様な学び、多様な体験**

→ 固定的な関係にとどまらない

多様な集団による学び、
多様な人とのかかわりを
多様な場所で

北川村文教施設・子育て環境等整備事業

こどもたちのために、みんなで

多様な集団・多様な人・多様な場所

をどうつくるか？

【多様な集団・多様な人・多様な場所】

解決策 ①：**幼小中の一体化、義務教育学校化**

→ 異学年・異年齢との交流による
集団や環境の多様化

解決策 ②：**地域の方や、仕事を通じた社会人の
教育への参加**

→ 関わる人の多様化、教育環境の多機能化

解決策 ③：子どもの増加を目指した取り組み

→ **子育て世代に魅力的な、教育環境づくり**
→ 移住者支援

基本の考え方



子供たちに「生きる力」を育む



目指すのは...

「何ができるようになるか」

大切なのは、
「何を学ぶか」だけではありません。

3

基本の考え方



そのために...

「どのように学ぶか」

4



「主体的な学び」になっているか

「対話的な学び」になっているか

「深い学び」になっているか



という視点から、授業をよりよくしていく

5



いわゆる

アクティブ・ラーニング

の視点からの授業改善



チームコミュニケーション重視のオフィス空間へ



社会につながる学びの空間

「社会とつながる学び」

「複合化」 何かが、学校施設に 併設、隣接されることで

1. こどもたちの学びの質（学習内容）を豊かにできる。
→ 新しい学びのあり方、小規模校に対して有効
2. 村民みんなが活用でき、村の活性化につながられる。
→ 皆が集まり、活動が生まれる
3. どこにもない学校、どこにもない学校生活によって
北川っ子としての誇りが育まれる。

●村の課題に対してでてきた キーワード

学校関連	◎多くの社会の人とつながれる環境づくりを！ ◎村の大人たちが、こどもたち・教育に関わりやすくなれる 情報発信の工夫
学校と 社会の間	◎様々な仕事・生き方を学んでもらいたい ◎子どもたちが集える場所 ◎子ども連れでいつも集まれる場所
地域	◎地域と子どもたちの「ふれあいの場」づくり ◎村民みんなが、ふれあえる場所、集まれる場所 ◎北川村の「たからもの」（魅力）を発信できる場づくり：道の駅、観光案内
少子化 活性化	◎若い人が集まれる場所、出会いの場 ◎移住してもらえ「情報発信」 ◎立地のよさを生かす ◎移住者を増やすための産業支援

こうした場所が、学校のそばにあるとよいのではないかな？

解決策 ②：地域の方や、仕事を通じた社会人の
教育への参加

『千人の家族が、子どもを育む ゆず王国北川村』

→ 学校施設への **公共機能の「複合化」**

学校は、北川村にとって「村づくりの拠点」でもある。

『千人の家族が、子どもを育む ゆず王国北川村』がめざす
多様な集団・多様な人・多様な場所づくりとしての
学校施設への **公共機能の「複合化」**

キーワード：

北川だからできる「子育て」環境

村の特性をいかし、未来の北川を担う子どもたちの育ちを支える

北川村がめざす、学校施設への公共機能の複合化

キーワード：

北川だからできる「子育て」環境とは？

こども・学校・地域の特性より

- 村民は、そこにいる、たたずんでいるだけでよい
この村で、こどもたちと、いきいきと生きる
- その姿が見え、子どもを見守り、時に関わる
- また、時には、同じ村民として共に活動する

私たち 学校・地域が 一体となって取り組むべき課題

北川村だからできる 豊かな「子育て」環境とは？

『0歳～100歳みんなが集える総合施設』

第2回地域ワークショップの意見より

■子育て・文教施設環境整備にむけて 継承すべき点・課題点

教職員WS	地域WS
子どもの特性【良さ】	子どもの特性【良さ】
あいさつができる、明るい	素直、真面目、素朴、元気 人なつっこい、協力し合える
基本的生活習慣が身についている 素直、礼儀正しい、素朴、 真面目 宿題などやりきれぬ生徒が多い 人懐っこい 互いのことをよく知っている	村を大切に思っている 誇りをもっている、郷土愛が強い
思いやりがある、優しい ものに対しても思いやりがある 大きい子にあこがれをもっている (特に、優しさ、意欲に対して)	学校の特性【良さ】 〈こどもたち〉 あいさつやそうじをしっかりとできる 手話や人権学習の取り組み 体験できる学び 楽しいといえる学校 様々な人間関係をしっかりと経験できる学校 みんなのよいところを知っている 縦の関係がすごくいい みんなで取り組むこと(給食・運動会)
仲間を大切にすることも 学年をこえて、交流があり、仲がよい 学びを分かりやすく表現できる	〈先生の取り組み、地域連携に対して〉 少人数だから、きめ細やか 保～中までの先生方の連携 地域の方の教育への参画 地域の方が見守ってくれる環境
いろいろなことに興味関心をもって チャレンジしようとする 何事にも前向きで一所懸命	地域の特性【良さ】 人と人のつながりがあり あたたかく、おだやかで、やさしい 高齢者が多いが、みな、やさしい よく関わってくれる 助け合いの心がある みんなの顔がわかる だれにでもあいさつする 安心感があり、ほっとできる 村のためにがんばっている人が多い
人を信頼している。 村のことが好きで地域の人と積極的に関わる。 人のために、村のために、何かしたいと 思っており、奉仕活動に積極的に関わる。 村の中であれば、自分で考え行動できる。	
歌や読書が好き	
体を動かすことが好き、自由 外遊びが好き ICTを活用できる	

子どもの特性【課題】	学校への課題
場面により、精神的に弱い面が見受けられる。 打たれ弱さが感じられる。 ものおじしやすい場面がある。 受身的で、積極性に欠ける。 指示を待って行動する場合が多い。 → 自分から前へ出ていく力 → 村外や社会にでていける対応力 → 新しい関係性をつくる力	少人数、子どもの数の減少 今後、学校が成り立っていくのか 少なすぎて、友だちの関わりが不安 社会性や団体生活への不安 競い合いや高め合いへの懸念 社会とつながってたくましくなってほしい 外に出ると大人しく、ものおじしやすい傾向 大勢の友達と一緒に何かをする経験が少ない
→ 将来への目標をもち、意欲的活動する力 自己発揮できる力	そのために… 多様な経験、机上だけでない体験できる学び 北川村だからできる豊かな学び環境づくり いきいきと生きる大人にみつめ 多様な生き方をふれ、夢が育める環境づくり
自分の思いや考えを言えなくなる場面があり 言葉で相手に伝えることに、苦手意識がある → 語彙力、表現力	
特に中学生になると、受け身になりやすい。 → 自分たちの生活を 主体的に改善していく力（自治活動力） → 変えていく力： チャレンジ力、発想力、向上心	こどもを取り巻く環境への課題 こどもはしんどい 荷物が多くて大変。 時間がない。何かしたいと思っているけど…
指示を待って行動する場合が多い。 → 想像力	みんな同じ文化 いつも一人（当たり）の重荷が大きい そのために… 少し、楽になれる、一息つける環境づくり 村外の子、地域住民、様々な大人、 社会につながって学べる環境

■第2回 地域ワークショップ 運営内容

【テーマ】「こんな場所、あったらいいな！」－ みんなの居場所を考えよう！－

【日時】 令和3年10月14日（木） 午後7時～午後8時30分

【場所】 北川村 村民会館 大ホール

【グループ構成】 6人ずつ程度（オンライン参加の方法を検討）

【WSの趣旨】 もし、学校を新しくすることができるならば、学校のそばに、あるいは、隣接して、どのような環境があるとよいのかを、みんなで考える。

第1回目の課題点からみえてきた、あったらよい場所に加えて、できるだけ多くの村民に活用してもらえる場所のイメージを考える。

Step1 5分 ●情報提供1

本事業の趣旨、WSの意味 担当：教育委員会

Step2 20分 ●情報提供2

村に必要な「みんなの居場所－〇〇のような場所」 担当：柳川

◎前回のワークショップの内容、アンケートから、課題共有

前回のワークショップから見えてきた村の課題

◎様々な場所の事例

村の課題解決にむけて、あるとよい場所のイメージを広げる

・村の魅力を発信する場所

例えば、道の駅のような、観光案内所のような、移住支援…

・子どもたちが社会の人とつながる場所

・村の産業や仕事を知ることができる場所

例えば、交流ひろば、村づくり活動拠点、サテライトオフィス…

・子どもたちが集まれる場所、子ども連れで遊べる場所

例えば、公園、図書館、交流ひろば…

・若い人が集まれる場、出会いの場

・みんながふれあえる場、ちょっと立ち寄れる場

例えば、カフェ、キッチンカウンター、みんなの保健室…

Step3 50分 ●「みんなの居場所」をデザインしよう！

「～なふうに〇〇できる、△△みたいな場所があったらいいな！」

班に別れて、3つまで、あったらよい場所のアイデアを考える。

3つの課題・視点を中心に、アイデアを出し合う。

視点1. 子どもたちが使える場所、子どもたちにとって必要な場所

視点2. 村民みんな、多くの人に、有効に使ってもらえる場所

視点3. 村の活性化につながる場所

5分 各自、記入

・自分だったら、どんな場所があるといいか？

25分 場所のイメージを、班内で語り合ってみよう！

- ・それぞれの意見を出し合って、本当に必要なものを選ぶ。
- ・その具体的なイメージを語りあう。

Step4 15分 ●全体共有

各班ごとに、まとめを発表

●「みんなの居場所」をデザインしよう！

「～なふうに〇〇できる、△△みたいな場所があったらいいな！」

班に別れて、3つまで、あったらよい場所のアイデアを考える。

3つの課題・視点を中心に、アイデアを出し合う。

視点1．子どもたちが使える場所、子どもたちにとって必要な場所

視点2．村民みんな、多くの人に、有効に使ってもらえる場所

視点3．村の活性化につながる場所

◎様々な場所の事例

村の課題解決にむけて、あるとよい場所のイメージを広げる

・子どもたちが集まれる場所、子ども連れで遊べる場所

例えば、公園、図書館、交流ひろば…

・若い人が集まれる場、出会いの場

・みんながふれあえる場、ちょっと立ち寄れる場

例えば、カフェ、地域食堂、みんなの保健室…

・村の魅力を発信する場所

例えば、道の駅のような、観光案内所のような、移住支援…

・子どもたちが社会の人とつながる場所

・村の産業や仕事を知ることができる場所

例えば、交流ひろば、村づくり活動拠点、サテライトオフィス…

■第2回 地域ワークショップまとめ

◎1班 子どもにとってHappy

【自然体験できる場所】 キャンプや料理もできる

- ・お泊り体験の場
- ・星座観察
- ・キャンプ用品 コテージ
- ・まきわり 料理も自分たちでメニューきめる
- ・災害時の炊き出しの経験にもつながる。
- ・大人から知恵を学ぶ
- ・生きる力
- ・つながりやたくましさをつちかう。

子どもにとってHappy

地域にとってHappy

【公園】

- ・学校おわって遊べる。友達といっしょに
- ・「村ピアノ」置く

【カフェ】

- ・子づれで『カフェ』行きにくい
- ・高齢者も大人も、子どもとつながれる場所
- ・接点、つながりを持ちたい！

【地域食堂】

- ・『地域』はみんなが使っていいイメージ
- ・行きやすそうな名前やふんいき作りを！
- ・放課後、子どもが立ち寄れる

【運動できる場所】

【図書館】は、今でも一応ある

村の活性化

【観光案内所】

- ・ゆずジュースなど、村の特産を。
- ・村のお店から、おろしてもらう。
- ・子どもが案内できるように。
- ・子どもの作品（新聞など）を展示
- ・人と話に行く、人とつながる

◎ 2班 【来てふれあえる場所】 【お茶の間のような場所】

- ・ いつでも、だれでも、あつまって、ごはん食べれる
- ・ 赤ちゃん連れから、お年寄りまで、土日
- ・ お母さんたちの集まり 本をよんだり、つながる場
→ 社協でやっているけど（つながりはつくるが）
集まる場所は、学校の方がいい。
- ・ 移住者の若いお母さんと、地元のお母さんと繋げていく場所
- ・ 老人ホーム

【本を通じて、ふれあえる場所】

- ・ 図書館 学校も一般住民 使える
- ・ 図書館、本屋
- ・ 本屋（最寄りになくて、買えない）
- ・ 本を教えてくれて、買ってくれる（購入の手伝いをしてくれる）

【お土産ショップ】（Aコープテッタイ）

【カフェの中の保健室】

【新しいことへのチャレンジ】

- ・ IT化の必要性（保健室、オンライン診療などへの対応）
- ・ ITを勉強しよう！（高齢者も）
- ・ やさしく教えてもらえる
- ・ すっときける（身内は、なかなか…、でも、他人なら）
- ・ （こうした取り組みは）北部に大切

【スポーツができる場所】

- ・ 体験型公園 → 観光にできる
- ・ 芝スキー

◎ 3班 子どもにとって

- ・ カフェ → だれがくるかわからない。
学校にあるべきもの、ない方がよいもの（しっかり考えたい）
- ・ 技能を伝え、身に付けられる（縄結びなど）

村民みんな

- ・ プラネタリウム
- ・ 図書館 子供中心
- ・ 公園（サバイバルキャンプが出来る）防災が学べる
- ・ 大人も子どもも自由にきて、交流できる場所
- ・ 子どもと大人が常に、交流できる場所
- ・ いつでも座れる木陰のベンチ ←あちこちにほしい

◎4班 子ども

- ・体験広場
- ・山の学校 ・川の遊び方、・山の遊び方、火たいたり
- ・アフター5（ファイブ）を楽しむ場所
- ・駄菓子屋

村民みんな

- ・皆の保健室
ほけん士を利用して、だれでも皆、気軽に利用できる。
- ・自由度の高い調理室
大きい調理室と少人数で使用可能な調理室が複数あったらな…。
- ・公園があればいい（総合公園的なもの）
- ・図書館
- ・病院
- ・老人ホーム
- ・健康公園
- ・ちょっとした買い物やカフェがあればよい
（店員は高齢者も雇ってほしい）
- ・体を動かすちょっとした器具があればよい
- ・0歳～100歳みんなが集える総合施設
- ・大人の食堂 夜の食事
- ・あかのれん
- ・若い人の遊ぶ場所（中間層）

村の活性化

- ・移住支援センター
- ・道の駅！！
地域の旬の野菜やゆずが気軽に手に入る場所
- ・観光案内所
交流ひろばが一緒になったような人々が集える場所
- ・集落の情報発信基地
- ・観光案内所的なもの 交流拠点的なもの含む
- ・アンテナショップ
- ・ゆず販売所

◎5班 子どもにとってHappy

- ・地域の先輩教室（お年寄りなど…が先生になる）
- ・子供が遊べる遊具
- ・芝生広場
- ・こどもの状況
こどもはしんどい、時間がない、何かしたいと思っているけど…
いつも一人（当たり）の重荷が大きい、楽になれる場所が必要
荷物が大変そう

村民Happy

- ・図書館を中心としたコミュニティー
- ・広い部屋にスクリーン 時々上映会など
- ・スタジオ、カラオケ、視聴覚ルーム
- ・村外の人（外国を含む）とネット上で気軽に交流できるしくみ
（村の状況、子どもの状況）
みんな同じ文化 ⇒ 村外の子とつながれる

村の活性化

- ・短波ラジオ
村の住民がつくる番組、リスナーとDJがつながる
- ・雇用促進
- ・カフェ
- ・子供が運営するカフェ（仮想通貨とオリジナル商品作り）
- ・みんなの保健室（ちょっとした話ができる場所）ジムも

◎オンラインより

- ・加工施設 村の特産品を使った商品を作れる誰もが使える施設
食品を作ってみたいと思ったときに、皆が使える加工機器が
そろっている。フリーズドライの機械など
子どもたちも、授業で使えるといいので、学校に近くにあるとよい
- ・温水プール 高齢者の健康増進と子供たちの授業と併用

子どもを育む環境づくり アンケート 集計結果、および、分析

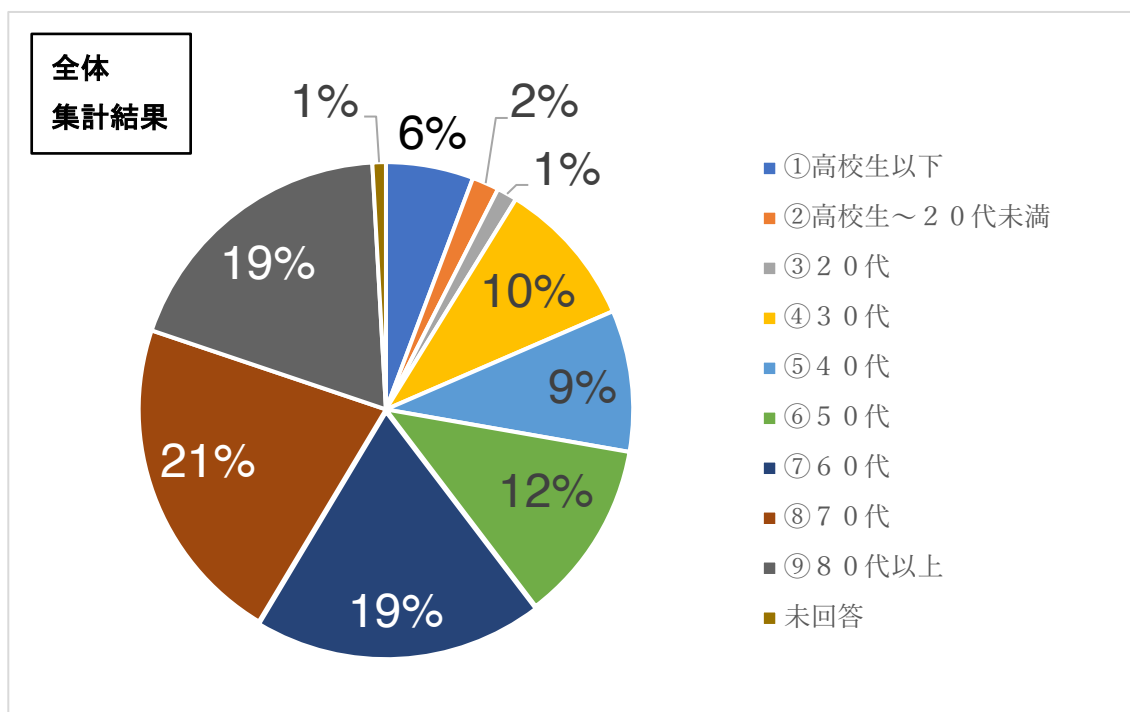
先日、村内にて実施しましたアンケートの集計結果について、分析内容とともに、取りまとめ、ご報告させていただきます。

- 実施期間 令和3年9月27日(月)～10月12日(火)
- 回答総数 227名 住民約18% が回答 (1230 / 227 = 0.1846)

以下、設問ごとの結果をまとめます。

問1 回答して下さる方の状況について、おたずねします。

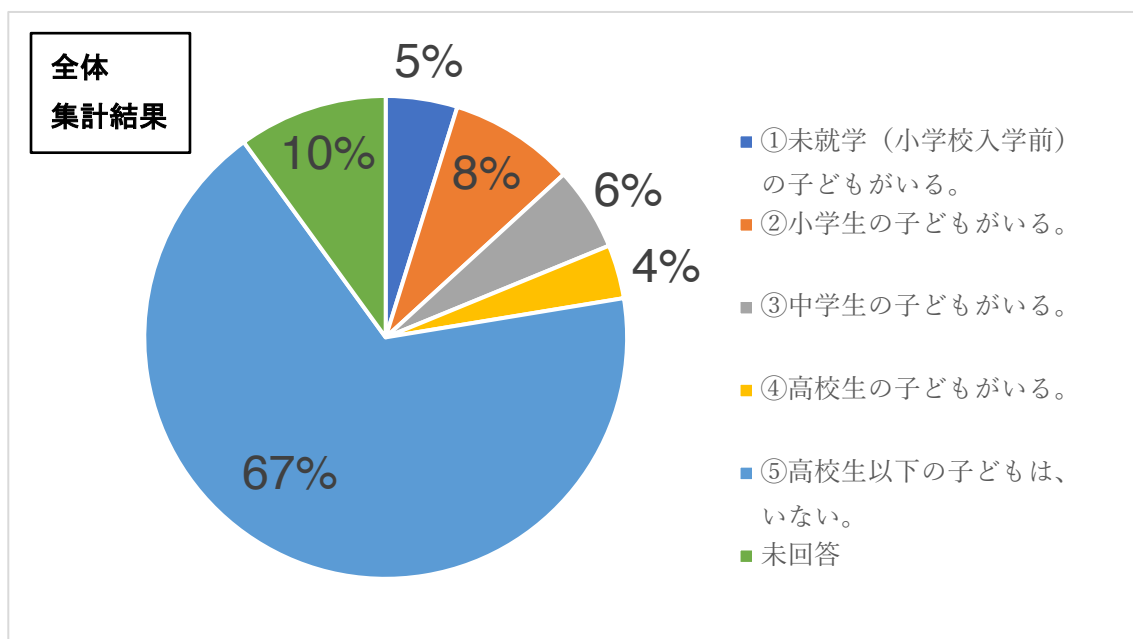
問1-1 回答して下さる方の年代を教えてください。



【問 1-1 傾向・分析】

- ・ ①～⑥50代以下の方が全体の40%。20代以下で9%の回答がみられた。
- ・ 60代以上の方は、約60%と半数以上となった。

問 1-2 お子さんの状況を教えてください。



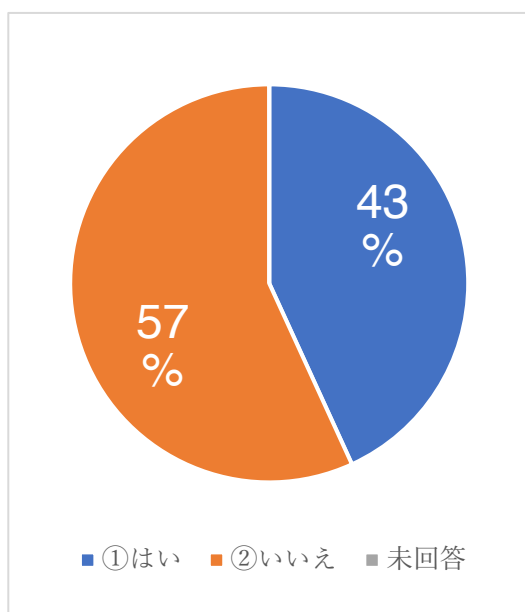
【問 1-2 傾向・分析】

- ・複数回答した方もあるため、高校生以下の子どもがいると回答された方は全体の 14.5%。約 85%以上の方は高校生以下の子どもがいない方だった。
- ・また、小学生以下の子どもを持つ方は 13%。

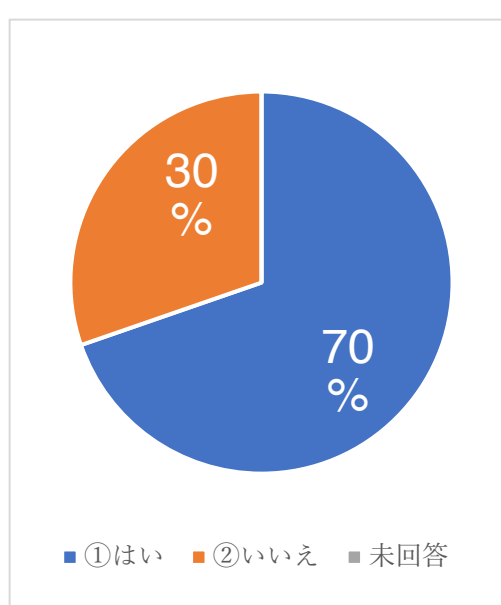
問2 文教施設のあり方検討の活動について、おたずねします。

問 2-1 地域ワークショップや検討委員会などで検討が行われていることをご存知ですか？

① 全体

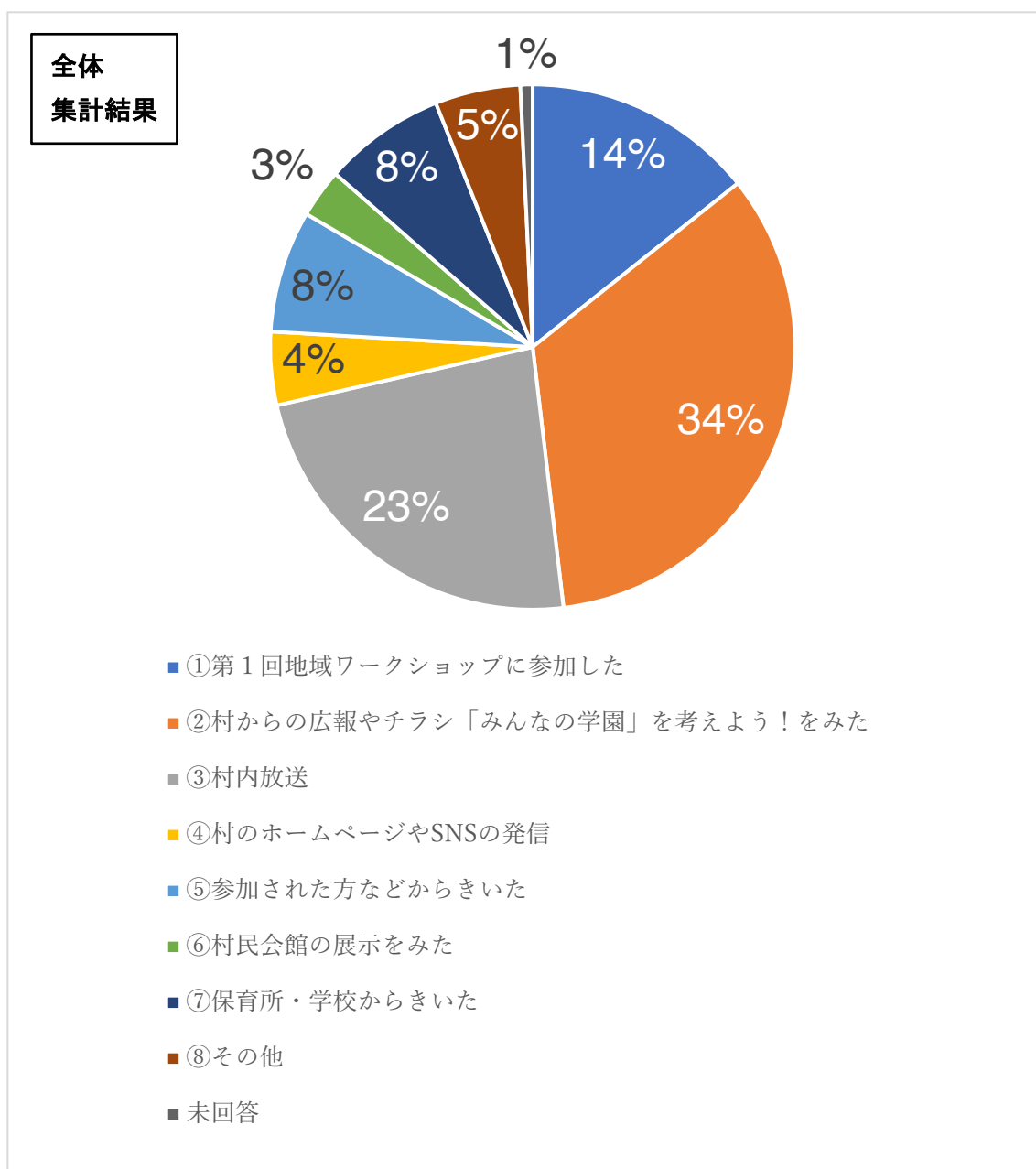


② 高校生以下の子どもがいる人



問 2-2 問 2-1 で、「①はい」を選択された方のみ

何でお知りになられたか、下記の選択肢から、お選びください。

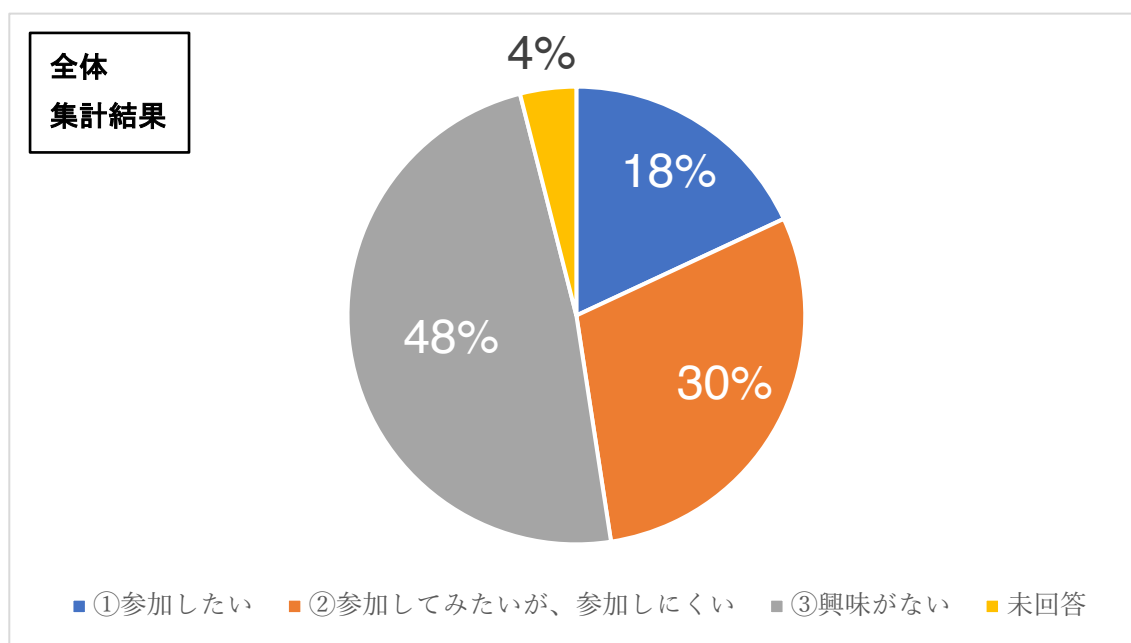


【問 2-1、問 2-2 傾向・分析】

- ・ アンケートに回答された方の中で、文教施設のあり方検討が行われていることを知っている方は、全体の 40%以上。高校生以下の子どもをもつ方は 70%という状況だった。
- ・ 何で、検討活動を知ったか、については、ワークショップに参加された方と広報やチラシをみられた方を合わせると、50%近い状況だった。
- ・ アンケートに回答された方は、文教施設のあり方検討について、関心の高い方が、ご協力下さった状況と見受けられる。

問3 今後のワークショップにむけて、おたずねします。

問 3-1 これから、コロナ禍の状況をもつつ、地域ワークショップを実施予定ですが、参加してみたいと思われますか？



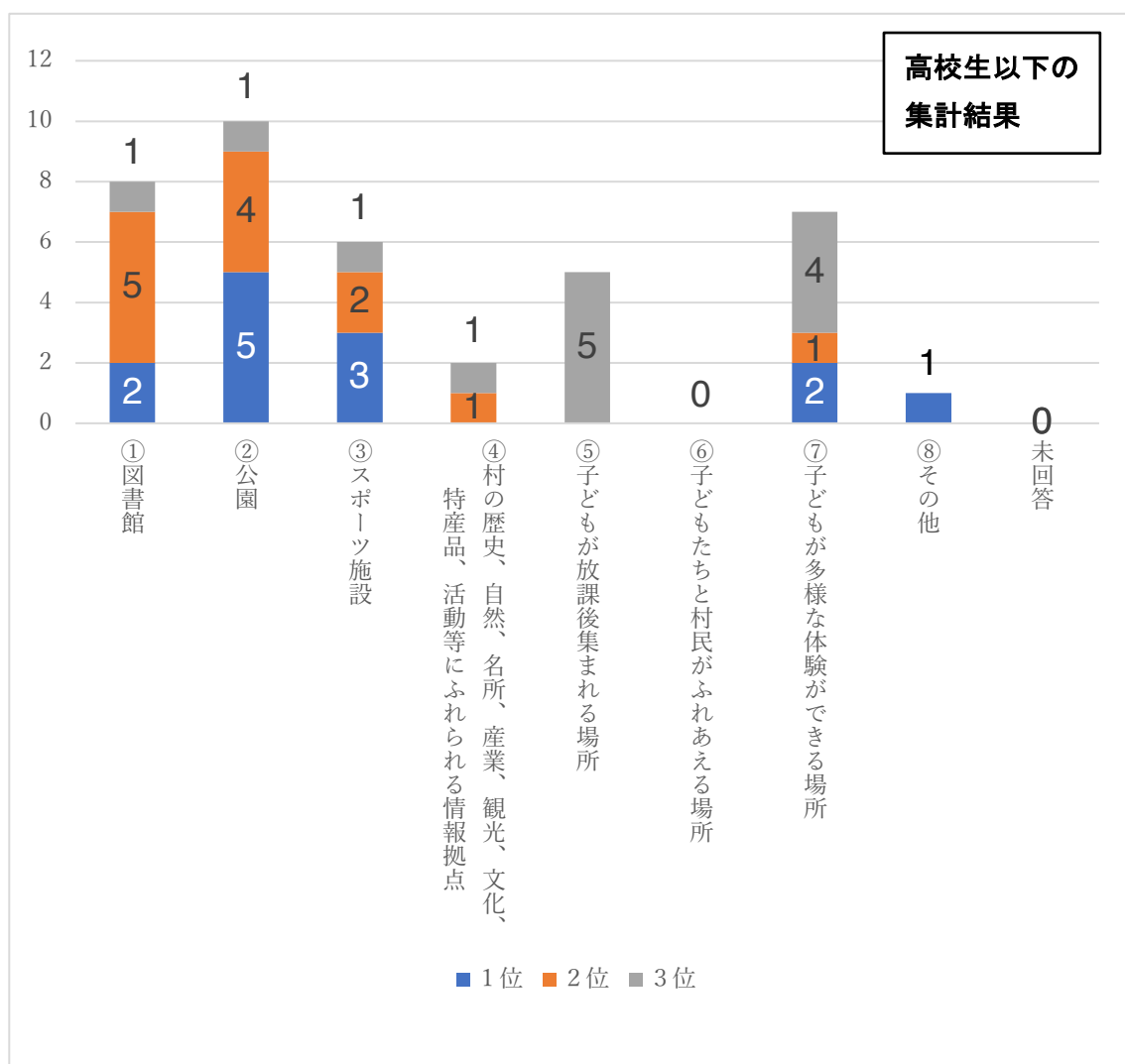
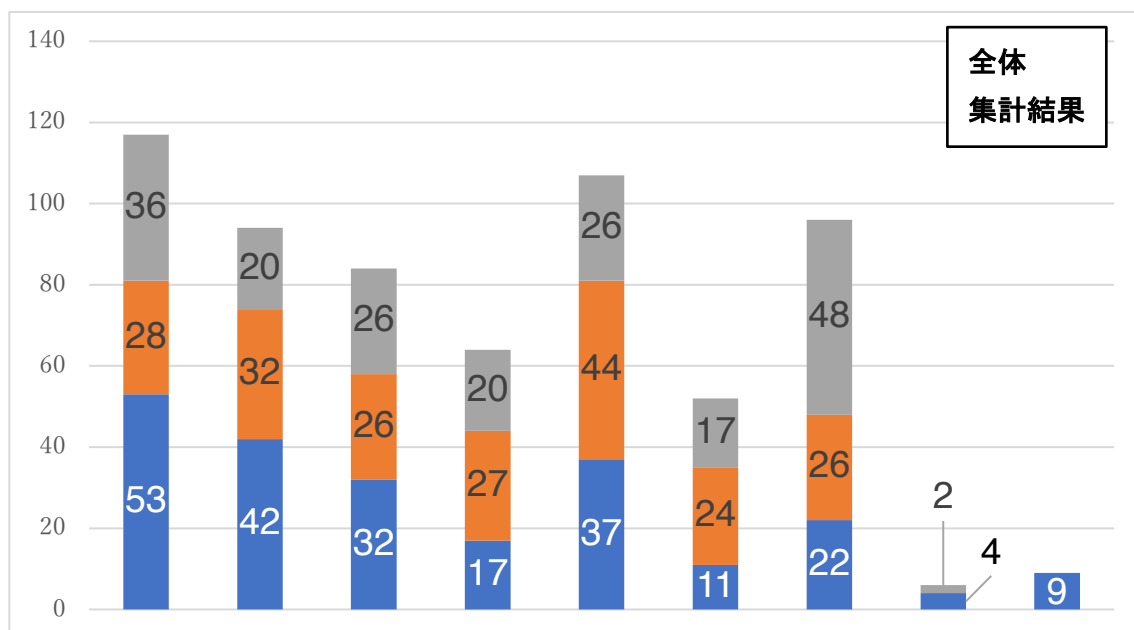
問 3-2 問 3-1 で、「②参加してみたいが、参加しにくい。」を選択された方のみその理由があれば、ご記入ください。

- ・時間がない。仕事で参加できない。夜家を出られない。(10名)
- ・子どもが小さいので。(2名)
- ・高齢だから。健康上の理由がある。身体が不自由。(12名)
- ・交通面の課題。車がない。遠方のため。夜の外出が不安。(6名)
- ・関心はあるけど親世代ではない。(2名)
- ・子どもがいないためイメージしづらい。意見を出しづらい。(3名)
- ・よく分からないから。ワークショップとは何か分からない。(3名)
- ・コロナが心配。
- ・村全体が元気になってほしい。他市町村より住みやすい村にしたい。
- ・活動を見守りたい。
- ・見聞きするのはよいが、参加は。
- ・意見を言っても採用されないとわかっているし、
学校を建てることからズレて子育てに視点が合わないから。

【問 3-1、問 3-2 傾向・分析】

- ・半数近くの方が参加したい、参加してみたいと答えている。
- ・しかし、参加してみたいが、しにくい理由として、高齢の方は、身体上の理由や、交通面の課題、現状への理解がうすい等の理由が多くみられる。
また、子育て世代では、忙しいなどの時間的な理由や、子どもがいて参加しづらい、わからない等の理由がみられた。

問4 北川村の子どもたちが、のびのび育つために、学校や保育所のそばにあると良いものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。



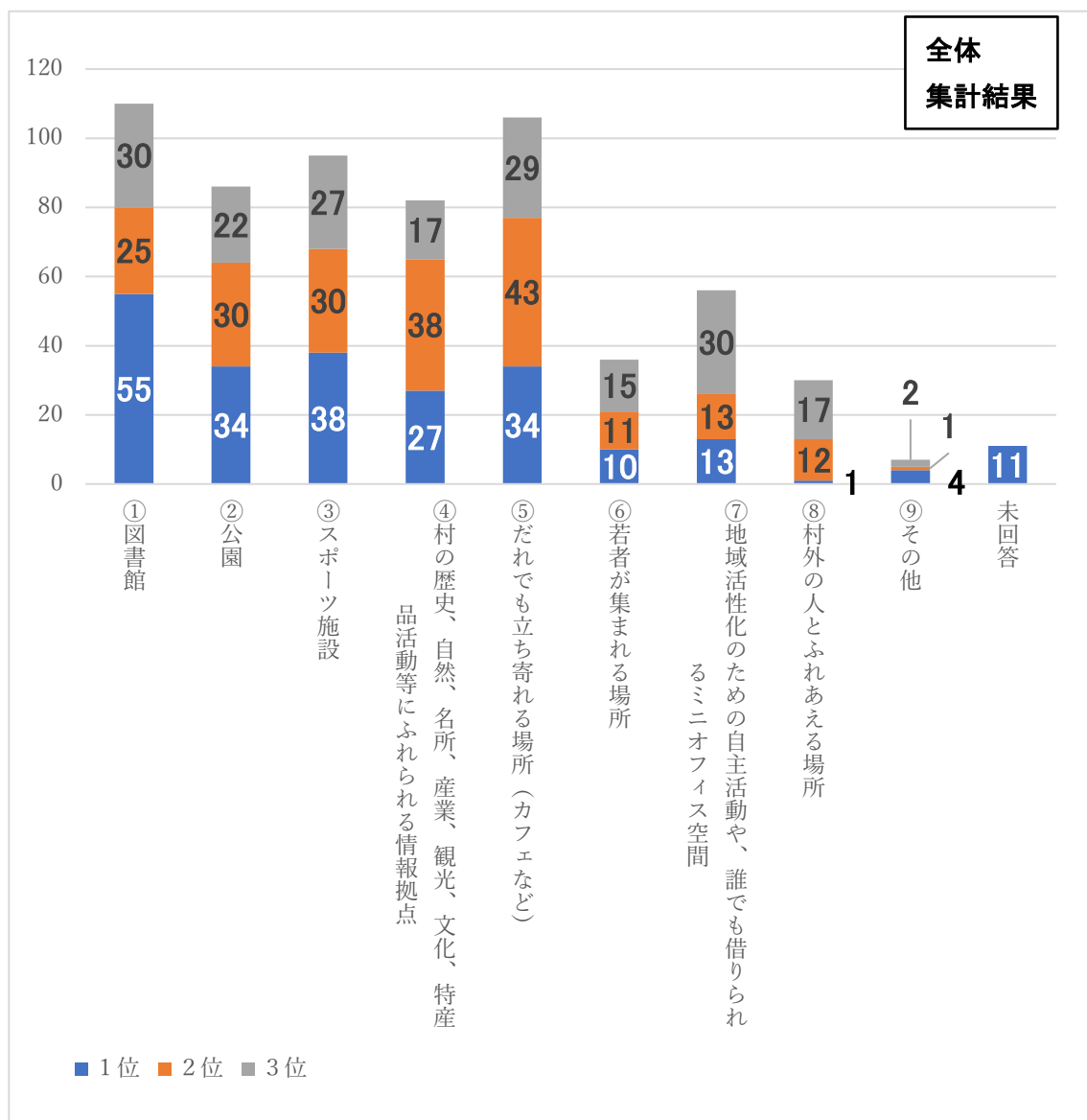
⑧その他のご意見

- ・コンビニ。
- ・公園の中に北川ミニを作る。
- ・それなりの施設が野友地区に集中してあるので、新しく作らなくても現在ある施設を十分活用しきる。先ず有る施設を十分に活かして使う工夫をすることが大事と思う。
- ・図書館やスポーツ施設、カフェ等あっても良いが無くてもかまわない。学校のそばにある必要もない。既存のもので十分であると思うが新たに作るという話であれば全く納得できる話ではない。
- ・この少子化の時代、新しい施設を作って無駄な浪費をするよりも、他に考えるべきことがあるのではないかと思う。

【問4 傾向・分析】

- ・最も要望が多かったのは、「図書館」機能であり、1位のみでも、合計でも要望が非常に高い。
- ・1位のみでは、「図書館」に次ぎ、「公園」「こどもが放課後集まれる場所」スポーツ施設となる。
- ・1位、2位、3位合計では、「こどもが放課後集まれる場所」や「こどもが多様な体験ができる場所」の順位が上がる。
- ・興味深いのは、「高校生以下」のみの集計の場合、公園を希望する人が多く全体集計と比較し、傾向が異なる。特に「こどもが放課後集まれる場所」は比較的順位が下る。これは、既に、放課後こども教室や学力ステップアップ教室、ゆずの花など集まれる場所があることや、ワークショップでも意見がでていたが、意外とこどもたちは、学校生活を含めて、忙しさや気忙しさを感じており、学校でも友達と一緒にいるため、放課後集まる、ということに対する希望が少ないのではないか、と考えられる。
- ・また、その他の意見の中で、今ある施設を活かすべき、との意見や、学校のそばにある必要もない、といった意見がみられる。既存施設に関しては、類似施設として、現在築37年が経過し、まもなく40年を向かえる状況の「村民会館」が挙げられる。村民会館が担う機能は、学校と類似する傾向にあり、学校が小規模のため、利用率を慎重に検討し、運営を工夫することで共用できる可能性が高い。また、「共用」は、子どもの教育環境の活性化や子どもと地域の方々とのふれあいの場面の増加など、教育的にも有効に働くと考えられる。こうした公共施設等総合管理計画にもみられる、施設を総合的に捉えた視点や、未来を見据えた教育的な視点における有効性等を、十分に理解頂く中で、検討していく必要がある。

問5 北川村の子どもたちが、社会とつながった学びにいかせる場所として、また、大人たちも利用できる場所として、学校や保育所のそばにあるとよいと思うものを、下記の選択肢から3つ、順位をつけてお選びください。



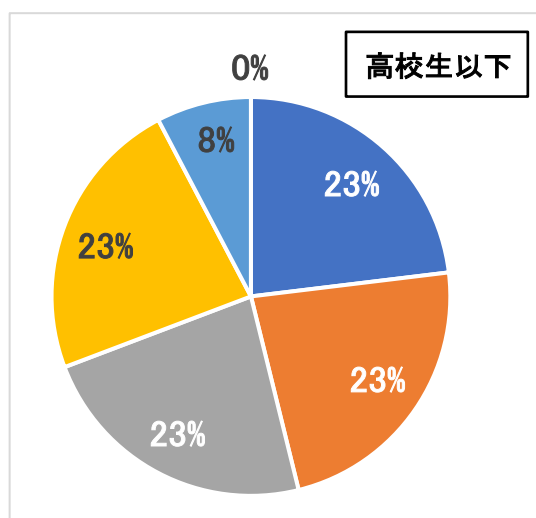
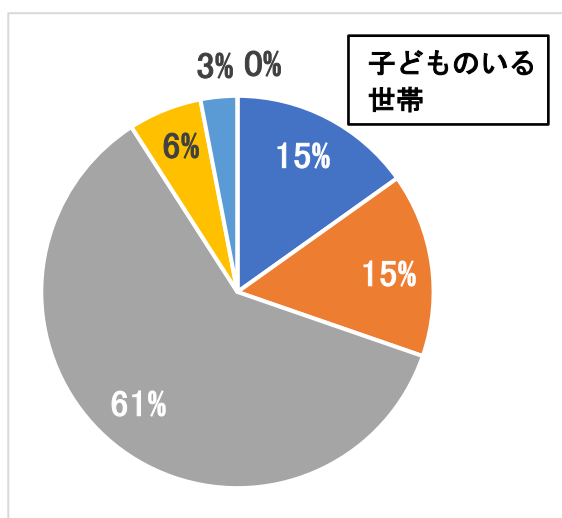
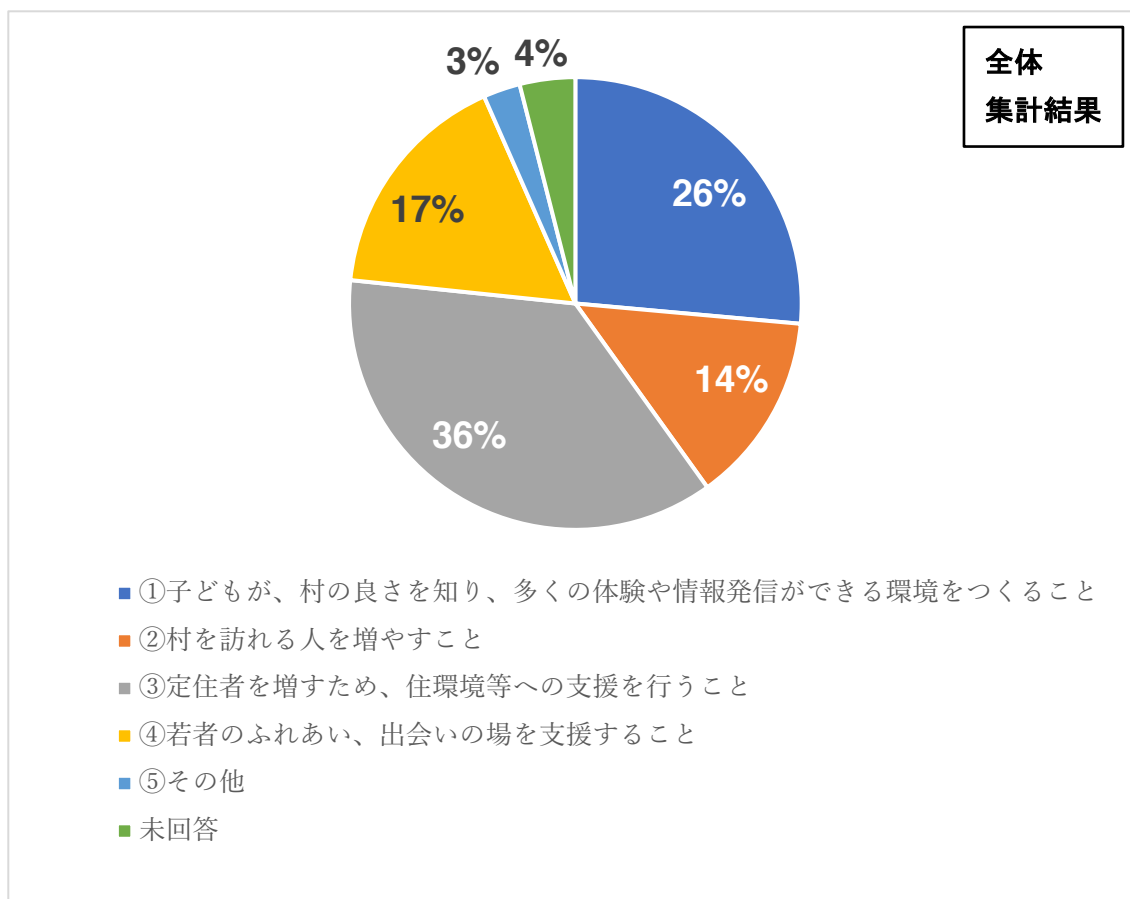
⑨その他のご意見

- ・ コンビニ
- ・ 自由に参加できる塾
- ・ プール
- ・ 図書と書籍販売とカフェを同一施設に。
企業や TSUTAYA などと合同で経営。
- ・ その他
(問4 と同意見として、既存施設の活用、必要性がない等の意見あり。)

【問5 傾向・分析】

- ・最も要望が多かったのは「図書館」機能。それに次ぎ「だれでも立ち寄れる場所（カフェなど）」「スポーツ施設」の要望が高かった。また、この傾向はどの世代をみても、同様の傾向だった。
- ・図書とカフェが選択肢にあったため、同一施設として運営への意見あり。

問6 少子化、および、学校の少人数化に対して、村や地域が一丸となって、特に取り組んだら良いと思うことを、下記の選択肢から1つお選びください。



⑤その他のご意見

- ・村の良さに加え、北川村にないものを多く示すことが大切。
- ・子どもに意見を持たせることをした方が良いと思う。自主性を育む。
- ・保小中同じ敷地内にあると便利。
- ・今回のアンケート内容とは関係ないが、世の中にはどんな職業があるか等を知るチャンスを与えてやってほしい。
(専門分野の方々を迎えて話を聞く等)
- ・起業などへの支援。
- ・産業・雇用の創出。
- ・昨今の社会では難しい。
- ・1つ選んで重点的に取り組んで済む問題ではない。

【問6 傾向・分析】

- ・少子化や、学校の少人数化に対して取り組むべき課題として、全体的にみて1/3以上の方が「定住者を増やすため、住環境等への支援を行うこと」を選んでいる。さらには、子どものいる世帯では、この選択肢が60%を越え子育て世代として、少子化対策が望まれていることが顕著な結果となった。
- ・また、高校生以下の世代で「若者のふれあい、出会いの場を支援すること」が、多世代と比較し、極めて多く、若者のみで集まれる場所を求めている結果が見受けられるが、「高校生以下」で回答した人の年齢が不確定のため、どのような意図があるのか、配慮する必要がある。
- ・加えて、高校生以下の世代では、「若者のふれあい、出会いの場を支援すること」と同率で、「子どもが、村の良さを知り、多くの体験や情報発信ができる環境をつくること」「村を訪れる人を増やすこと」の選択肢が並んでいる。これは、この世代で、学校の友人以外の多様なふれあいが少ないと感じている可能性もあり、ふれあえる人や活動に多様性を求めている状況が考えられる。
- ・さらに、その他の意見では、職業に対する多様性を伝える機会への要望や、産業、雇用への意見もみられた。
- ・本業務は、文教施設環境整備に係るもののため、少子化の状況の中で有効な学校環境や文教施設環境、子育て環境整備を検討する必要があるが、一方で少子化対策として、人口増加をねらった住環境支援と連動して実施していく必要性を、住民が感じていることが顕著な結果となった。
こうした人口増加を目指す施策と両輪で実施することにより、子育て環境を守り、「千人の家族が子どもを育む」方向性のイメージを、住民とともに、共有し、力強く取り組んでいくことができるものとする。

■第2回 小学生WS「こんな学校あったらいいな！プロジェクト」 運営内容

【テーマ】「こんな学校楽しいだろうな」を考えよう！

【日時】 令和3年10月12日（火） 13時40分～15時20分

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【参加者】 小学4年生、5年生、6年生 グループ：同学年（全6班）

【WSの趣旨】 もし、新しい学校ができるとしたら、どんな場所があるといい？
こんな学校があったら楽しいだろうな、もっと楽しくするには？
みんなでアイデアを考えてみよう！

現状に対する思いを集める。

様々な写真をスライドで見せ、イメージをふくらませ、

こんな学校があったら、楽しそう！というアイデアを考える。

Step1 5分 ●ガイダンス 担当：教育委員会

「こんな学校あったらいいな！」プロジェクトの紹介

Step 2 5分 ●情報提供

みんなの好きな場所を、もっと楽しくするために

担当：設計工房顕塾 柳川奈奈

Step 3 35分 ●ワークショップ1

1. **もっと楽しくするには、どうしたらよいか？ 考えてみよう。**
前回のワークショップで考えた好きな場所について
もっとこうしたらいいな！と思うことを考えて見よう！
2. **（進み具合をみて可能なら）みんなの意見を聞いてみよう！**

.....
(休憩) 10分

Step 4 15分 ●情報提供

こんな学校、楽しそう？ 担当：設計工房顕塾 柳川奈奈

Step 5 25分 ●ワークショップ2 (写真をみながら)

1. **お気に入りを見つけよう！**
印象に残った写真、こんな場所があったらいいなと思った写真を選んでみよう！
2. **理由を考えてみよう！**
どうしていいな、と思ったか、理由を考えて、書いてみよう。
ポストイットに書く。

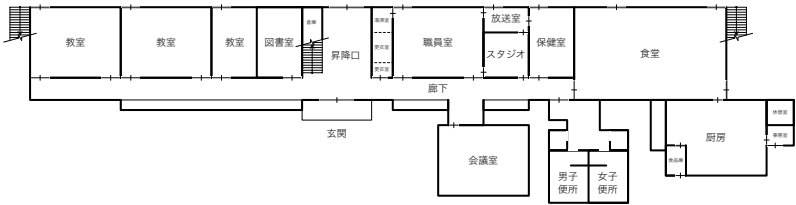
Step 6 5分 ●全体共有

みんなの意見をまとめる。

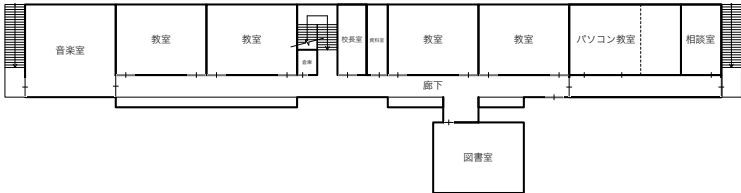
みんなの思いを大人の人に届ける約束をして、終了。

◎第2回 ワークショップ ワークシート

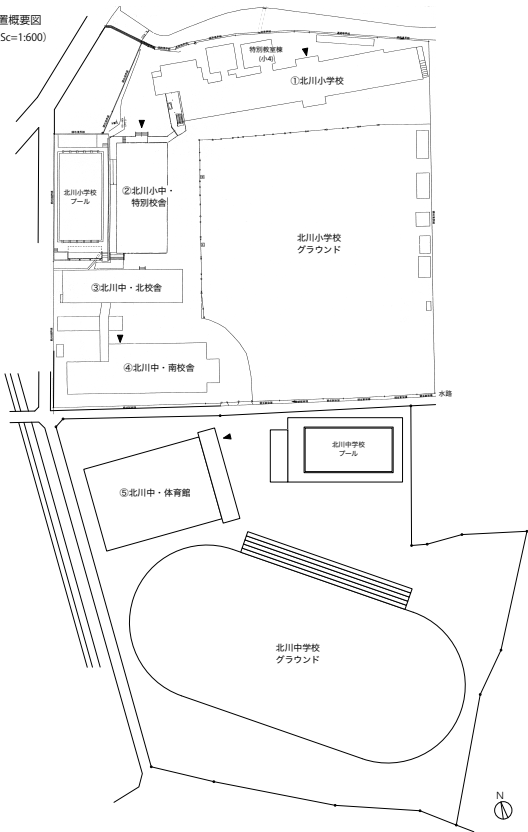
◎小学校 校舎2階



◎小学校 校舎1階



■校舎配置概要図
(Sc=1:600)



1. お気に入りの場所で、考えてみよう！

考える場所の名前

2. もっと楽しい場所にするアイデアを考えてみよう！

3. みんなで楽しく使う、アイデアを考えよう！

■小学生（高学年：４～６年）ワークショップ 意見まとめ（その１）

１．新しい建物にむけての意見 *新しい建物へのイメージガイダンスなしの意見

こんなことができるといいな（新しい活動への要望）	
内部	・ 工作が作れる場所がほしい。 ・ 自然をいかして 木を使った授業（何か作る） ・ つかまえた生き物を虫カゴにに入れて、１週間くらいてんじする部屋をつくってほしい。 ・ 校しゃの中にテレビをおいて、ドラマ（勉強に関係あるもの）を みたい。
内部 （放課後）	・ みんながリラックスできる所がほしい。→宿題する場所や音楽を聞いたり、本を読んだりする所など。 ・ 下校がおわったあとの宿題する場所がほしい。 ・ クラブ（１～６年の）を作ってみたらいいと思う。
外部	・ 学校で動物をかうのは、いいと思う。 ・ うさぎなど、動物を飼ってみたい。 理由：動物の勉強がすくできそう。飼い方を学べる ・ ４年生がうさぎを飼いたいという意見がいいと思う。 理由：北川に動物を飼ってせわすることがないから。 ・ 動物コーナーがほしい（学校でいやされたいから） ・ 動物がほしい。（３名） ・ ZOO、アクアルーム ・ 魚かきたい。

あったらいいなと思うもの	
場所・機能	・ チェキをとれる用の場所 ・ えいがかん ・ キャンプ場 ・ ホテル ・ カラオケができる場所、カラオケボックス（ストレス発散になるから） ・ コンビニ・売店 ・ お店 ほうかご、おやと行く。村民とふれあえる。 ・ 出店（やたい） ・ 無料屋台がほしい。（お腹がすいたら食べれるから） ・ 無料お菓子屋がほしい。（お菓子が食べたいから） ・ めんきょがいない車に、乗りほうだい。 ・ 学校にタクシーで行きたい。

あったらいいなと思うもの（つづき）

物品 器具・設備	・学校の制服がほしい。 ・水力発電 →ソーラーパネルをすてるときかんきょうにわるいから ・ロボット 理由：常に楽しくおれそう。先生がいない時に使う。 ・おそうじロボ（そうじを児童でしてくれるから） ・ひまつをとばすといけないから、あくりるばんがほしい。 ・ジム（ダイエットグッズ） ・遊具をふやす。（シーソーなど） ・トランポリンがほしい。 ・トランポリンがほしいという意見がいいと思う。 理由：下級生もトランポリンが好きそう。 ・テレビがほしい。 ・ゲーム機がほしい。（休み時間にゲームがしたいから） ・れいぞう庫がほしい。（ジュースを持参して冷やしたいから。） ・れいぞうこ（れいとうこ） すいとうのお茶がぬるくなった時、こうりを新しいのをいれるから ・れいぞうことれいとうこがほしい。こおりがとけたりするから。 一人ひとりのこおり入れがほしい。 ・飲み物（ジュース）がでてくる機械がほしい。 ・コーラ冷水機がほしい。（休み時間にコーラがほしい）
--------------------------------------	--

2. 新しい学校にむけての意見【場所・空間・しつらえ・活動】 *スライドをみて

場所	意見	
教室	・ 教室にも本のコーナーがあると良いと思う。	5
	・ 教室にも、本のコーナー	5
	・ たたみで本がよめるのはいい。	5
	・ たたみがある教室	6
	・ 本のコーナー（和室）	6
	・ たたみがある和室が良い	6
	・ たたみで本がよめる	6
	・ 木のおいでくしゃみがでそう。アレルギー	5
	・ てんじょうに木があっていい。たかくていい。	4
	・ 教室は広くてつくえをつなげたい。	4
オープンスペース	・ 丸い机があるし、机を動かさなくてもいいから楽。	6
	・ ろうかにも、本を読めるところがほしい。（教室の近く）	5
	・ いろいろなおもしろい場所がほしい。	6
	・ いろいろおもしろい場所。	5
	・ おもしろい場所がほしい。	4
	・ アスレチックとかがありそう。	5
	・ へやに少しアスレチックみたいなのがほしい。	4
英語の部屋	・ 楽しく英語の勉強できるところがほしい。	4
	・ 楽しくて、みんなで英語ができていい。	4
	・ 楽しく英語ができる教室がほしい。	4
	・ 英語がみんなと楽しくできる。	5
	・ 楽しく英語ホーム	5
	・ 海外みたいな部屋で楽しく英語をやりたい	4
	・ 海外の物を取り入れると、他国の文化も分かる。	5
	・ 英語の勉強をしながら、外国風のくうかんで入れる。	5
	・ ハリーポッターの城みたいでカッコイイ！！ ファンタジー	5
	・ 海外のふんいきがいい。	5
	・ 英語のへやがほしい。きせつによって、へやをかえてほしい。	4
	・ ALTの先生とお話できるからいい	5
	・ 気分が上がって、授業は受けられるけど、集中できなさそう。	5
	・ こっきとかあっていい。	4
	・ こっきがあって、どこかおぼえていい。	4

工作室	・ 工作室がほしい	4
	・ ものづくりの場所	5
	・ ものづくりの教室がほしい。道具がいっぱいがいい。 休み時間にもいける。	4
	・ ものづくりのへやがあって、たのしそう。 ものがたくさんつくれるからいい。	4
	・ じゅ業のときや休み時間のところに工作のできるところがほしい。	4
	・ 工作室がほしい。休み時間も工作したい。それをもって帰りたい。	4
	・ 自分がみんなとDIYできる	5
	・ みんなで工作できるから、楽しそう。図工室がないから。	5
	・ 様々な工具もあって、楽しそうだし、工作の所は、研究所みたいで かっこいい。	5
	・ フィンランド風のが良い	5
	・ えを書くかみのだいがあるとうれしい。つくえがいっぱいになるから	4
	・ 工具がそろっている。	5
	・ ざいりょうがいっぱいあっていい。	4
	・ ものづくりしながら、道具の名前を覚えられる。	5
理科室	・ 理科室は、外でも使用できるし、外で勉強とは、発想がおもしろい。 室内もかっこいい。	5
	・ いろいろなことができる理科室	6
	・ いろいろなりかじっけんができる	4
	・ 外とつながる理科室。外で勉強できる場所	6
	・ そととつながる理科室	6
	・ わくわくしながら、理科ができてほしい。（観察など）	6
理科室に 続く外教室	・ しばふの広場や池をつくって虫たちのかんさつできるところがいい。 それをかざれるところがほしい。	4
	・ しばふの広場で理科の勉強ができていい。	4
	・ 外でいろいろなかんさつをしたい。	6
	・ 生きもの広場 生きものが自由に過ごせる所	5
	・ 虫がいたら、よく観察できる。	6
	・ いつでも虫や植物を見れる。	6
	・ 色々な植物や虫について、調べれるし、気分転かんになるから。	6
	・ 外で勉強できるかんきょうがほしい。	5
	・ 外でも勉強できる。勉強ですぐ使える。外での授業。青空教室	4
	・ 外で勉強できてロマンチック	5
	・ 観察したことを外で授業ができて、ロマンチック	5

芝生の中庭	・ 外でのびのびあそべる場所がほしい。	4
	・ 外で自由にあそべるところがいい。じんこうしばがほしい。	4
	・ じゅうにあそべて広いからいい。	4
	・ きれいなじんこうしばがほしい。こけても安心な地面がほしい。	4
	・ 中庭に人工芝があったら、走りやすい	6
	・ 人工芝がほしい。バトミントンなどできるから。	6
	・ 外でのびのびあそべる。（人工しば） 運動場	6
	・ 先生にじゃまされず、のびのび遊びたい。	5
	・ 人工しばがある外。	6
	・ 人工しばのグラウンド。	6
	・ 人工しばのグラウンド。	6
	・ 人工しばふ。運動場があるから。	5
	・ 晴れのと看、あついからやだ。	4
	・ のびのびと楽しく遊べる。すずしそう。	5
	・ 楽しくすわって、会話や行事で使えそう。	5
	・ しばふがあって、昼ねができそう！！	5
運動場へ 続く軒下	・ 屋根がついているところ	6
	・ 外であそんだり、勉強したあと、すずめる。	5
	・ 外であそぶとき、つかれて休みときに、日かげで休むところがほしい	4
	・ あついとき、ガードしてくれるからいい。	4
	・ ろうかがあるかずに、教室からグラウンドに行けるようにしたら、 休みじかんめいいっぱいあそべるから。	4
	・ すぐグラウンドにいける場所	5
	・ すぐにグラウンドに行けてらく。わざわざかいだんのぼらんくていい	4
集まれる 場所 (大階段)	・ みんなが集まれる場所があるといい。後ろの人でも見えるから。	6
	・ みんながよく見える。（背が低い人でも）	6
	・ 階段があって、段差があるから、見やすい。	6
	・ 背が低い人でもみれる。	6
	・ イスにすわって集まりたい。	5
	・ 階だんではなく広場で集まる方がいい。	4
	・ かいだんではなく、広い場所で集まるほうがいい。	4
	・ ちょっとせまそうで、集中できなさそう。	5
	・ せもたれがないから、いたそう。	5
	・ みつでのぼらないかんから、めんどい。	4
	・ クラスターがおきそう。	5
	・ ろうかがせますぎて、やだ。	4

ランチ ルーム	・ みんなでごはんを食べると、いつもよりとても楽しくて、 毎日の給食が楽しみになる。	5
	・ 自由におべんとうを持ってきて、みんなで食べれる所	5
	・ 給食は、食どうみたいなのがいい。（ばいてんみたいなもの）	4
	・ ていぶるがまるくて、かおがみえるし、はなせるからいい。	4
	・ 丸いテーブルで一緒にご飯を食べたい。	5
	・ 丸いテーブルでごはん。	5
	・ 丸のつくえじゃなくて、四角いのが好み！！	5
	・ 丸いテーブルじゃなくていい。	5
	・ みつになってやだ。	4
	・ みつになるからやだ。今じゃなければいい。	4
トイレ	・ にぎやかで、カラフルなトイレがほしい。	4
	・ いろがからふるでいい。	4
	・ カラフルでいい。・カラフルなトイレがほしい。	4
	・ カラフルで、おしゃれ！！みんなで低学年が洗える。	5
	・ ごうかなトイレがほしい。	4
	手あらい場は、小さい子ように大小の手あらい場を作ったらいい。	4
	・ ごうかなトイレがほしい。手をあらうところも大・小ほしい。	4
	・ こちよいトイレ	5
	・ こちよいトイレ	6
	・ でかく横長のかがみがいいと思う。	5
職員室	・ めがちかちかしてやだ。	4
	・ おちついてトイレできない。	5
	・ 先生に声がかけやすい。	5
	・ 先生に声がかけやすい。	5
	先生もぼくたちのつくえにする。かたいいすにする。	5
	・ 教室とつなげてほしい。	5
	・ 先生が近くにいます。	5
	・ あんな不思議なところがあると、ユーモアな発想で面白い。	5
	・ 先生たちが、自由に放課後などお話できる場所がほしい。	4
	・ 先生たちの一人部屋	5
	・ いすがちいちゃいから、やだ。いすがおおきくしてほしい。	4
	・ 先生のことを考えると、先生もらくでいられて、ゆっくりとお話 できるソファかクッションを置いて、そのときだけでも、ねっころ がってできるしょくいん室。	4
	・ わたしたちが、わいわいするとき、うるさい。	4

職員室 (つづき)	・先生がつかれているので、休める場所があるといい。	5
	・先生たちが休けいやゆったりできる場所があってほしい。	4
	・先生が仕事が終わったとき、ゆっくりできる	4
	・先生たちが休けいできるしずかなスペースがいいと思います。	4
	・先生たちがやすめる場所がほしい。(しずかなところ)	4
	・かたとか、うでがつかれるから、マッサージ機を買ってあげる。	4
	・マッサージきがほしい。(先生のため)	4
	・ベットのたくさんある、先生のへや。マッサージ機も。	5
サイン	・一年生も絵がかけていいと思う。楽しい！！	5
	・教室などのところにサインをつけてほしい	4

3. 新しい学校にむけての意見【複合化の可能性が検討される機能について】

* スライドをみて

場所	意見	
大きな 図書館	・大きな図書館がほしい。(4名)	6
	・本がたくさんあっていい。	4
	・大きすぎると本がさがしにくい。	4
	・本がありすぎて、本を返すときに大変。	4
	・本がありすぎて本をかえすところかわからない。	4
	・楽しくよめる大きい本だな	5
	・大きな本だな(2名)	5
	・大きな本だなでかこまれていていい！！	5
	・大きい本だなに囲まれていて、楽しそう。	5
	・大きい本棚に囲まれて本を読むと、げん想的。	5
	・本棚が高いとこわい。	5
図書館の 空間 づくり	・本をさがし広いところで読むと気持ちがいい。	4
	・めいろみたいな図書室がほしい。	4
	・本が多くて、あたたかいイメージ。安心する。	5
	・広くて、かいほうかんのあるところがいいです。	4
	・ねっころがれて、ゆったりと本がよめていい。	4
	・マットをしいて、ごろごろしたい。	4
	・先生ソファ、ヨギボイスを置いて、のびのび遊びたい。	5
	・クッションで読みたい。(2名)	5
	・たたみで、本が読める。	5
	・しばふのところでよめるからいい。	4
	・やすみに本がよめていい。	4

一人で 読める場所	・個室がほしい。	5
	・一人でしずかに読めるところがいい。	4
	・一人でやわらかいイスで読みたい	5
	・一人でゆっくりみえるっていい。	4
	・一人でよむのはいい。一人でよみたいときはいい。	4
	・一人で読んでいたら、分からない漢字があるかもしれない。	5
階段状の 図書館	・図書室の階だんがいい。	4
	・大きな階段で読む	5
	・かいだんは急いでこける。あぶない！	4
	・大きな階段× 転ぶし、こけるから。	6
	・大きい階段で本を読んだり、座ったりすることはいやだ。 理由：人が通ったときに集中できないから。	6
	・階段で本を読むのは、いやだ。理由：落ちたらこわいから。	6
	・上にある本がとれないこと！！（2名）	6
みんなの 図書館	・みんなで1つの図書室にしたい。	4
	地いきの人や小さい子ともふれあえるから。	
	・ちいきの人もしょに本をよめる。ともだちもできなかよくなる。	4
	・地いきの人もしょに読めるところがいい。	4
	・家族と本が読みたい。	5
	・みんなでよめれて、赤ちゃんもよめていい。	4
	・みんなで仲良く本が読めると、自分が好きな本の紹介もできてよい。	5
	・中学生とよんで、オススメなども聞けていい。	5
	・中学生と会うことは少ないから	5
	・どんな人が本を読んでいるか分かる（オススメ）	5
	・むずかしい本が読むことができる。	5
	・親や子どもも使える図書館。 (赤ちゃんを泣かせてしまったらダメかな。)	6
	・赤ちゃんといっしょだと、泣き声がうるさくて集中できないから いやだ。	4
	・赤ちゃんの泣き声で、本が集中して読めないかも。	6
	・赤ちゃんが泣いたりしたら、落ち着いて本が読めない。	6
	・赤ちゃんが泣いたり、遊んだりしてほしいときとか、本がよめない。	6
	・落ち着いて読めない。×。	6
	・赤ちゃんが泣いたら、集中できそうにない。	5
	・みんなで一つは集中できないかもしれない。	5

資料ギャラリー	・北小にも展示室があると、勉強しやすい。	5
	・北川村情報をみたりできて、総合に使える	5
	・北川村の有名なところなどをしれるミュージアムがいい。	4
	・北川村のかんこう地を見れるミュージアムてきものがあるといい。	4
	・ゆずのてんじがいい。北川村は、ゆずがゆうめい。	4
	・ゆずのてんじがいい。北川だから。	4
	・山にある木の種類。	4
	・北川小学校ミュージアム → 北川小の歴史、北川村の歴史	5
	・中岡慎太ろうを典置（展示）したい。	5
	・お料理のてんじ室（高知県の！！）	5
	・星空や天体の展示をしてほしい。	6
	・アンパンマンも展示してほしい、（写真や本など）の	6
	・星空、ゆず、アンパンマン 展示してほしい。	6
	・プラネタリウム	6
情報発信	・情報発信をしてくれるところがあってほしい。 （PRとか、新聞など置いているところ）	6
	・PRしやすいし、見やすいからよい。	5
	・PRコーナーは便利で、北川を知ってもらえる。	5
	・新聞とかはって、かんこう客にみてもらう	4
	・北川村のじょうほうはっしんできるところ。	4
	・学校の中に、はっしんする場所	5
カフェ	・学校の近くにあるカフェ。（2名）	6
	・学校の近くにカフェ	5
	・学校の近くにカフェがほしい。（3名）	4
	・気軽にカフェにいけていいと思う。おちつく	5
	・木でできたカフェ（学校の近く）	5
	・カフェがあったら、土日など飲みにくたりする。	4
	・カフェがあると友だちと行ける。インスタもとれる。	4
	・もし、学校のちかくにあったら、のみに行く	4
	・親にないしょで、来たい！！	5
	・オシャレ	5
	・カフェみたいでオシャレだし、便利だと思う。	5
	・カフェみたいでキレイ。役に立つ。	5
マルシェ	・みんなとマルシェと行ける。インスタ	4
	・マルシェがあると、ごはんもかえる。	4
	・おじいちゃんとかもいっしょに、マルシェに行ける。	4
	・いろんなしょう品をうるから	5

■小学生（高学年：4～6年）ワークショップ 意見まとめ（その2）

1. 既存建物に対する意見

場所		学年	理由	もっとよくするためには
昇降口	正門入ってすぐの木（しゅろの木）	5	かげがある 木の下に立っていると、色々な風景が目に入る。	・登校するときに、気持ちよく入りたいので、自分の どう像を置いてほしい。
	表札	4	じぶんがかよっている学校だなんて思うからです。	
前庭	めだかの池	4	メダカがいっぱいで、かわいくて、いやされるし、 スイレンが冬か春とかにさいて、きれいだから。	・石のすいそうをガラスとかで、とうめいにして ほしい。→とうめいになると、メダカも見れるし、 理科でもかんたんに実験できるから。
		4	めだかをかんさつできるのと、 すいれんもさいてきれいだから。	・メダカの水をきれいにしてほしい。 →メダカの水がきたないかた、かえてあげた。
		4	メダカが気持ちよく泳いでいると自分の気持ち よくなるから。	・今だとえさのときぐらいしかメダカがみえないので とうめいのいれものもいい。えさもやりたい。
		4	めだかがいきいきとおよいでいるからです。	
南庭	さくらの木の下	4	学校の中のさくらで、とくにきれいだから。	
運動場	グラウンド	6	みんなが楽しく遊んでいて明るい雰囲気 楽しいから。	・めいろをぐらうんどにつくれば、高・中・小、 みんなでたのしめる。
		6	みんなと一緒に仲良く遊ぶことができるから	・グラウンドはアスレチックを作してほしい。 →低学年にたのしんでもらえるから。
		6	みんなとの仲が深められたから。	・ぼうけんの森遊具
		6	みんなの笑っている声などを聞くことが楽しいから。	・みんなで遊べる道具が少ないので、外でも、 バスケやテニスコートなどがほしい。
		6	放課後にみんなと楽しくサッカーしたりしているから	・運動場の砂でけがをしたら、とてもいたいから、 人工しばにしてほしい。砂だけだと、サッカーが 少ししにくいから、人工しばにしてほしい。
		6	サッカーなどいろいろなスポーツができるから	・バスケットする場所（たいめん）

場所		学年	理由	もっとよくするためには
運動場	グラウンド			・シーソーやのぼりぼう（プラスチック） きんとれ場をおいてほしい。
				・ジップラインをグラウンドに行くまどから、 体育会につなげると楽になる。
				・ままごとができるようにしてほしい。
	タイヤとび	4	みんなであそべて楽しいし、 タイヤとびはうんどうできるから。	・水やお茶、ジュースを飲める所を もっと増やしてほしい。
		4	木のかげが気持ちいいから	・暑い時に休むことのできる場所がほしい。
	なかよし広場	4	落ち着くから	・木の下にベンチをおいてほしい。 カがいるから、カがこないようにしてほしい。
		4	みんながよくかぞくごっこをしたりしていることと 虫とかがたくさんいるから。	・木のところにベンチを置いてほしい。 例えば、もみじの木の下。なぜなら、秋、すごく きれいだから。 カがこないようにしてほしい。
		4	理由は木と太陽がかさなってきれいだから。	・うんていのかげでべんちをおいてくれるとゆっくり できる。風がきもちいい。おすすめ。
				・カがこないようにしてほしい。ベンチがほしい。
				・カがいて、かゆくてあそべないから、 カをへらす木かなにかをつけてほしい。
				・広場のみぞをなくしてほしい。あぶないから。
				・みぞをくふうしてうめてほしい。
	畑			・はたけがほしい。
				・畑をひろくしてほしい。たいくさんそだてられるし りかや生かつでたくさんできるから。 みんなでそだてれるのたいけんができるから。

場所		学年	理由	もっとよくするためには
プール	プール	4	みんなのしくえがおですること。	・泳ぐだけじゃ何か足りないので、スベリ台をつけてほしい。
		4	みんなでみずでっぼうや あたらしいおよびをできるから。	・ウォータースライダーをつくってほしい。 もっと楽しくするために。
		6	みんなとクロールや平泳ぎをたくさん練習したから。	・冬でもプールに入れるよう、温水プールをつくってほしい。室内プール。（温水シャワー）
		6	平泳ぎの練習ができるから	・おんすいプールがほしい。（しつない、ゆずいり）
		6	平泳ぎがうまくなれたから。	・室内に温水プールがほしい。 かみナリの時にできない時におよぐ。 プールができないとざんねんだから。ゆずをいれる
		6	泳ぐことが楽しいし、好きだから	・プールに浮き輪をおいてほしい。
		6	みんな頑張っている姿が見えて、自分の泳ぎに 生かされて楽しいから。	・プールのたからものがいっぱいになってほしい。 しょうぶしあって楽しめるから。
				・具合が悪くなった時のために、仮めん室をつくってほしい。（ねるところ） ・水族館のように、魚をおいてほしい。
体育館	体育館	6	飛び箱などいろいろな運動ができるから	・休み時間に遊べる体育館がほしい。
		6	いろんな運動道具があって、ふだん教室でできない こともできるから	・小学校の体育かんを作って、やすみじかに あそべるようにしてほしい。
		6	体をいっぱい動かせるし、 元気いっぱい遊ぶことができるから	・休み時間に卓球。 ・体育自習ルーム
		5	ぼくは運動が好きで得意だから、前に出たりすること があるから、活躍できていると思うから。	・でん気がすぐにつくようになったら、体育が早く できて楽しいことができる。
				・ランニングマシーンがあったら、たくさん走れる。
				・エアコンがあったら、楽しくなると思う。 ・クーラーをつけてほしい。夏は暑いから。

場所		学年	理由	もっとよくするためには
体育館	体育館			・冷水機があったら、すぐに水がのめる。
				・れいすいきがほしい・
				・コーラーやアクエリが出る冷水機を置く。
				冷水機がこわれているから。
特別校舎	多目的ホール	5	木の香りがいい、良い気持ち	・休み時間集まれるように
		5	木でできていることで落ちついてできることができる。	理由：雨の時、みんなで遊べる所がないから
		5	夕方には優しい日の光をあびながら勉強できる	(・全部が洋式じゃない。体育館も。)
		4	おたのしみかいができるから。	
校舎1階	ランチルーム	6	みんなで楽しくごはんを食べれるから。	
	会議室			・雨の日とかに遊びたいので、しょうぎ場にしてほしい。
	保健室			・ほけん室を広くしたい。けがした人をはこぶやつもほしい。あるけないかもしれないから。
	職員室			・先生方がやすめるところがほしい。
校舎2階	教室（6年教室）	6	みんなと楽しく過ごしている場所だから。	・もっと広くしてほしい。
		6	みんなとたくさん勉強して、落ち着く所だから	・遊ぶ物がもっとほしい。
		6	みんなといっしょに勉強できるし、自分のつくえがあっておちつくから。	・座るソファがほしい。 (つかれたら座れるから。ヨギボーなど)
		6	みんなが明るくて元氣になれるから	・先生がすわるようないすがほしい。ベットがほしい。
	カウンセラー室	5	相談したい事を話せるし、カウンセラーの先生がやさしくしてくれるから。	
	パソコン教室	5	下じきづくりをクラブでするのが楽しいからです。クラブでしか入れないから特別だと思ったからです。	
	理科室			・理科室などを増やしてほしい。 いちいち中学校までいのが、めんどうだから。
	屋上			・てんぼう台をつけてほしい。

場所		学年	理由	もっとよくするためには
校舎 2 階	音楽室	4	元気でうたうから。	・もっと広くしてほしい
		5	もともとリコーダーが苦手だったけど、できるようになったのが音楽室だったから。	・楽器を増やしてほしい ・ダンスができるカガミの部屋がほしい。
		5	音楽の勉強が楽しいしぼくが好きな木琴があるから。	・もっと楽器を増やして、教室の幅を広げるともっと楽しく音楽の授業ができると思う。
		5	みんなで音楽の勉強をするのが好きだし、知らない楽器をさわれるから。	・防音室がほしい。
		6	楽器がたくさんあるし、音楽の授業が好きだから。	
		6	みんなの歌声や楽器の音などを聞くことが楽しいから。	
	図書室	5	本や図鑑がたくさんあり、みんなで楽しくよめるから	・図書室はもっと本をふやしてほしい。 場所もひろくしてほしい。
		5	本を読むといろいろなことを学ぶことができるから	いすもつくえもふやしてほしい。 1 週間に 1 回、中学生といっしょに読みたい。
		5	本が好きだから	・部屋をもっと広くして、本をふやしてほしい。 (ぶあつい本) とくに物語とちょっとマンガもほしい
		5	いろいろな種類の本を読めるから	・おもしろかった本をしょうかいするところがほしい。
		5	何か調べる時、ほんの種類が多いと調べやすくなる。	・もっと広くして、本を増やして欲しい。 ・もっとむずかしい本を多くしてほしい。
		5	いろいろな本があって、おもしろいと思う本があるから。	・北川村で有名なものを置いてほしい。 ・おりょうりや竹の本がほしい。
		5	様々なジャンルの本があり、自分に合った本を探すのが楽しいから。	・本がいっぱいあって、もっとひろくなってほしい。 そふぁがいい。本が好きなひとがよろこぶ。
		5	本がいっぱいあって、本を読むのが好きだからと、いろんなジャンルの本を読めるから。	・クッションなどがほしい。理由：かたいイスより、やわらかいイスで集中しながらよめると思うから。

場所		学年	理由	もっとよくするためには
校舎 2 階	図書室			・ 下の図書館は、ほんかくてきな図書館にして、上のほうは少しだけ本をおいて、こしつのスペースを作ってほしい。（べんきょうとかできるから）
				・ 2 階図書室はよく人が来るから、ろう下みたいに通路があるといい。
				・ 図書室の中に、専用のタブレットを置き、好きな本の場所をタブレットで調べられるようにしたい。
	トイレ			・ 洋式トイレをもっと増やしてほしい。 ・ 2 階にトイレ トイレのためだけに下にいくのが大変だから。 ・ といれを 2 階においてほしい。 →下に行くのに時間がかかるから。 ・ 2 階にもトイレを作る。
他	階段	4	絵がとてもきれいで、かいだんはこうしているとき見るから	・ 給食の時間に、ご飯を運ぶときに大変なので、エスカレーターか、エレベーターをつけてほしい。
				・ 階段をエスカレーターにして、行き来できるようにしてほしい。（半分だけ階段にする。） 階段だと、こけそうで、早く行くことができておくれそうになるときがあるから。けがしてる人や骨折した人が、楽に行き来できるから。 ・ エスカレーターを下りる用と上がる用 2 台ずつ。 行列になったとしても、2 台ずつあれば、けんかにならず、行き来することができるから。 ・ エスカレーターをつけるという人がいたけど、いいと思った。

場所		学年	理由	もっとよくするためには
他	廊下			・ベルトコンベアで給食を運んでもらう。 楽だから。生活しやすくなる。
				・ベルトコンベアーで給食をはこぶのは、こわれたら 給食がたべられなくなるからいや。

マルシェ (つづき)	・ 学校で作った野菜をマルシェで売ったりしたい。	4
	・ マルシェに北川村のゆずを使った料理をだしたい。気持ちが知れそう	5
	・ 学校にお金を持って行って買いたい。	5
	・ お金をこっそり持って行って買えそう！！	5
	・ まるしょがほしい。（2名）	4
	・ マルシェは、近所	5

4. 新しい学校にむけての意見【建物・形態】 *スライドをみて

場所	意見	
学校	・ 今のままの学校がよい。	6
	・ 今のままでいい。	6
木造の校舎	・ 木がいっぱいある学校。気持ちがいい。	6
	・ 木がいっぱいの学校がいい。	4
	・ 木いっぱい学校がよい。（いつでも木のにおい）	6
	・ 木がいっぱい。	5
	・ 木だけで、体育館とか、図書館とかを作ってほしい。	6
	・ 気持ちが良くて、すがすがしい気持ちと落ち着くから。	6
	・ 木が多かったらいいにおいだし、自然を感じられて気持ち良いから。	6
	・ 木がたくさんあると、落ち着くし、過ごしやすい。	5
	・ 木のいいにおいがしそう。でも、ボールがはさまりそう。	4
	・ 木のにおい（メリット）	5
	・ カビがはえる（デメリット）、しっける（デメリット）	5
	・ きがこわれそうでやだ。	4
学校の目印	・ 学校の目印があると分かりやすいし、シンボルマークがあるとカッコいい。	5
	・ 学校の場所が分かるようにするため、あんな高い時計台があってももしろい。	5
	・ ゆずのとけいだいをめじるしにしたい。	4
	・ ゆずのとけいがほしい。（ゆずのはたでもいい）（2名）	4
	・ やねにゆずのめじるしがあるといい。北川村やなって、わかる。	4
	・ やねのうえにべんきょうしているところ	4
	・ 入り口の門のよこに、ゆずの木を1本植えたい。	4
	・ 北小とゆうはたをたてるとよいと思う。	4
	・ 慎太郎とゆずの銅像	5
	・ みんなが銅像を展示する。	6
	・ 学校に目印がある。校長先生の顔がでる。	5
	・ 大きいし、学校はすぐ見つけれられるから、いらないと思う。	5
	・ とけいは、金もったいない。	5

■第2回 中学生WS「みんなの学園を考えよう！プロジェクト」 運営内容

【テーマ】新しい学びの場所について考えてみよう！

【日時】 令和3年10月14日（木） 午前10時40分～午前12時30分

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【参加者】 中学1年生、2年生、3年生（2～3人の班）

【WSの趣旨】 楽しく、いきいきと、みんなで学び合うために

学校にあるとよい場所・空間について考えて見よう！

楽しく、いきいきと、みんなで学び合う場所って、どんな場所だろう？

学校での学習はもちろん、夏休みの自主研究、自習などで使えるとしたら

どんな場所があるといい？ 何がほしい？ 何があるとよい？

Step1 5分 ●ガイダンス

前回の振り返り

担当：教育委員会

今回のワークショップの趣旨

担当：設計工房顕塾 柳川奈奈

Step2 15分 ●準備作業

社会のオフィスや、大学の学びの場所をのぞいてみよう！

社会のオフィスの写真をみせ、今と社会とのつながりを知る。

楽しく、生き生きと、みんなで学び合うための場所の秘密を探る。

＊最近のオフィス空間の事例、大学のラーニングコモンズの事例

Step3 25分 ●情報提供

大学の研究室「くらけん」をのぞいてみよう！

－「くらけんツアー」からイメージをひろげてみよう！－

（15分 案内 + 5分 質問コーナー）

担当：千葉工業大学 創造工学部

デザイン科学科 倉斗研究室

（休憩） 10分

Step4 40分 ●ワークショップ

各自 1. こんな場所があったらいいな

↓

2. こんなふうに学べたら楽しそうだな

グループ

こんなことができるコーナーがあるといいな！

こんなことやれるといいな！

こんな場所、こんな家具、こんな設備、こんなモノがあるといいな！

いろいろな場面を想像して考えてみる。

Step5 10分 ●全体共有

各班ごとに、語り合ったことを発表する。

次回は、これらアイデアを総合的にとりまとめることが目標。

■第2回 中学生ワークショップまとめ

1. リフレッシュ、リラックスできる場所

- ・休憩するスペース（勉強の疲れをいやす）
- ・ものすごく休けいできるところ
- ・屋上　きれいな空気を吸うため　息抜き
- ・ながめがきれいなところ
- ・リラックスできる場所！　→ソファとか！
- ・床がたたみの部屋（和室）　ねやすい　くつろぎやすい
- ・ソファ（超大きい）リラックスするため
- ・ソファ（リラックスしたい）
- ・学校の椅子がソファ　理由：今のが固い
- ・クッション（リラックス）
- ・ベット（寝たい）
- ・ベット（寝たい）
- ・寝れる所　理由：机は固い
- ・静かにできる場所（休けい）　静かにできる場所がほしい
- ・温泉（部活後の疲れをいやす）
- ・泊まれるスペース（てつやしたいときがある。）

2. みんなでわいわい、のびのびできる場所

- ・仲を深める　・みんなが気軽に来れる
- ・全学年が集まって、楽しく話したり、遊んだりできる場所！
- ・自由になんでもしていい場所がほしい。（絵を描いたりとか）
あったら、リラックスできそう。楽しそう。
- ・しゅみのものができる場
- ・公園　好きなときに遊べる動ける場所
好きなときに入れる、運動できる建物
- ・いつでも遊べる、動ける場所がほしい。
- ・体育館⇒好きなときに入れて、遊べるようにしてほしい！！
- ・遊ぶ所がほしい
- ・床がトランポリン
- ・サンドバック
- ・学校の中に大きいツリーハウスほしい。
- ・先生が知らない秘密の部屋がほしい。
- ・ゲームができる所　・ゲームきほしい
- ・動物園みたいにしたい

3. 何となく行けて、ゆったり、まったり過ごせる場所

- ・Wifiのあって何でも持ちこめる休めるところ
理由：休み時間に遊んだりしたい
- ・ネットカフェみたいな個室でいる時間
理由：じぶんだけの場所っぽいのができるから
- ・カフェ的なもの 理由：ひまな時に…
- ・校内ミニシアター（全校で）
- ・映画かんほしい
- ・好きな音楽を聞けるところ！
一人で！ ソファとかすわれるところも！
- ・休みの日でも 自由にいけて
勉強するスペースやカフェがある場所

4. 学びで、あったらよい場所

- ・本がいっぱいある図書館
- ・大きい図書館（学校の近く）
一人で読める個室 みんなで集まれる所
マンガ小説、いろんな本
- ・ゆっくりいろんな本が読める所がほしい。
- ・総合ですぐ読んだり、調べたりできる場所
- ・音楽 楽器が沢山ある所
- ・クラスで自由にDIY
- ・何か料理出来る所
- ・サッカーコート（芝 人工芝にしてほしい）

5. 移動を楽しみたい！

- ・全校共有のスペース（他学年との交流を増やす）
- ・全部の教科が一つの教室になってほしい。
- ・移動が楽だから。
- ・学校と体育館がつながっている（移動が楽）
- ・教室の窓からでたら、すぐにプール
- ・屋上に畑 理由：移動が楽
- ・エレベーター
車いすの人が階段を上がり下りしづらい時にエレベーターがあると誰でも楽に上の階や下の階にいくことができるから。

6. よりきもちよく過ごす工夫

- ・体育館にエアコン
- ・色んな場所に鏡をせっち（身なりをチェック）
- ・そのまま靴で学校に入れる靴をぬぐのがめんどくさい

7. 食べることを楽しみたい！

- ・バイキングがほしい。学食が良い！！
- ・給食でなく、バイキング形式か食堂
- ・デザートなどを自由に食べれるところ！バイキングみたいな…
- ・自販機（飲料・お菓子）がほしい（日々のいやし）
- ・食べ物を売っているこう売を作ってほしい！
- ・パイナップルの木がほしい。
- ・べにいもタルト、ガトーショコラ、大福を売ってほしい。
- ・やきとり、マックのテリヤキバーガー、食べほうだい
- ・スシローのメロンのアイス食べたい
- ・腹へったら、せせり食べれるようにしてほしい

8. 村のために、あるとよいもの

- ・村の中に病院や交番があったらいいと思う。
村の中にないと、田野とかまで行かないといけなくなるから。
交番があると、すぐに落とし物をもっていけるから。
- ・コンビニや売店（村の中に） 村の中にある売店が少ないし、
コンビニとかもあったらいいから。（食べ物や飲み物だけでなく、
地域の物を使った料理も売っていただければと思う）

9. 衣服について

- ・月の特定の日だけ私服登校OK 理由：特になし
- ・制服じゃなくて私服にしてほしい
- ・パジャマでいきたい

10. 時間の工夫

- ・普通の休み時間は15分ほしい（足りない）
- ・お昼休み40分（休める時間がもっとほしい）
- ・休み時間をもう少し長くしてほしい。（昼休みは例外）
- ・休み時間にみんなで遊んだり、好きなことをしたい
- ・自分の時間を自由に使える
- ・宿題をなくしてほしい
- ・テストをなくしてほしい

10. 行事・活動、やってみたいこと！

- ・ 体育祭と文化祭（今はない！）の両方を年内に！
（行事がもっと欲しい）
- ・ 高校にあるような文化祭
理由：今のままだと、ぱっと終わってしまうから。楽しそう。
- ・ 中学校全員で、修学旅行 理由：楽しそう
- ・ 小中合同で一日中、山でいろいろ 理由：行事をふやしてほしい
- ・ 小学校と中学校で一日中遊んでいても、寝ていても、
いろいろしてよい日 理由：したい
- ・ 小中合同旅行 理由：修学旅行以外にも県外へ行きたい
- ・ 一週間に1回、全校でスポーツ
- ・ ゲーム大会 理由：したい
- ・ いきなり何かが始まる（全校）
- ・ 部活動を増やしてほしい！

■第2回 保小中 教職員ワークショップ 運営内容

【テーマ】「北川学園」らしい、保小中一体化のあり方とは？

【日時】 令和3年10月13日（水） 15時15分～16時45分

【場所】 北川小中学校 多目的ホール

【グループ構成】 5班

【WSの趣旨】 保・小・中の一体化教育をめざす北川村として、
 どのような運営や施設を構築していったらよいか？
 前回のワークショップで出された課題点をもとに、
 具体的なアイディア・要望を出し合う。

前回のワークショップでみえてきた北川村のこどもたちへの教育的な課題
 それを具体的が学校の活動へと落とし込んでいくためのアイディア、
 あるいは、行政や地域への協力をお願いしたい内容、施設面への要望を
 いくつかの視点を軸に、皆で考えてみる。

Step 1 10分 ●ガイダンス、情報提供 担当：設計工房顕塾 柳川奈奈

Step 2 20分 ●情報提供 担当：教育委員会

Step 3 50分 ●ワークショップ

1. 施設が一体になったイメージで「保小中一体」を考える

以下の課題点を中心に、北川ならではの保小中一体のあり方を考える

教職員すべてで考えていけるとよいこと

教育委員会に協力してもらいたいこと

地域で協力してもらえるとよいこと

施設への要望

【課題点】

- より一層、保小中連携を実践していくに、考えたいこと
- 同一学年だけでなく、多様な集団で行うと有効な活動とは？
 どんな集団構成で、どんな活動を行うとよいのか？
 授業、生活、放課後、行事…
- 保小中一体で行うとよい行事
 どんな行事を、どんなふうに行うと良いか？
- 日常の中で、保小中がどんな場面でふれあえるとあるとよいのか？
- 地域の方との関わりの可能性
 学習、生活、行事
- 校外での経験を、どの学年で、どんなふうに行うとよいのか？
- 北川村の外、外から来た人とのつながりをいかした学びには、
 どんな可能性があるだろう？
 学習、生活、行事

Step 4 10分 ●次回にむけて

■第2回 教職員ワークショップまとめ

1. 教職員が連携して実現をめざすべきこと

●子どもたちの活動の中で	2
【授業等、学習活動の場面で】	
・単学年でなく、体育や音楽など一緒に！！（低・中・高）	4
・（保・小）授業、劇、合唱、合奏	5
・子ども同士でも保小中の成長を知る （保育で色々と学んでいる。赤ちゃん扱いをせずに、時には見守りも必要…。やってみせて、ほめる！！ 自信につながる。）	2
・小・中【外国語】 他校との交流、国内外	5
【縦割り班での活動】	
・縦割り班の編成	1
・縦割りグループで、小と中、保～中までで、課題を解決していける活動 指示を出す側に中学生がなれば、指示待ちしなくなる？	2
・縦割り班 動物、植物（育てる）、畑：作って食べる	5
・昼食の放送 そうじの時間（縦割り） 委員会活動	5
・多様な集団で行う有効 清掃、クラブ活動	5
【行事などの場面で】	
・保小中で一緒にできる行事が増える	3
・行事を合同でする 始業式、終業式、遠足、発表会、体育的行事	5
・保小中で行うとよい行事 運動会、発表会、遠足（野外炊飯） どの行事も上級生の姿が下級生のお手本となる	5
・体育大会（保・小・中） 学芸会（保・小・中）	5
・保小中で一緒に運動会 憧れ・責任感	2
・（保）小中合同で学習発表会（地域学習を通して学んだことなどの発表を聞き、他の学年の学習を知る）	4
・学習発表会の見学（合同学習発表会）	1
・保小中合同で、文化発表会を行う →観てくれる人が多い方が、モチベーションにもなるし、刺激を受けて向上心アップにつながる	4
・保小中合同での防災訓練	1
・体育集会的な活動を（保）小中の縦割り班で行う（体育レク）	2
・（保・小）授業、劇、合唱、合奏	5
・行事や参加できる体験活動は、期待や見通しがもてるように参加していけたら…。	5

【日常的なふれあい】	2
・ 小中から保へ気軽に行けたら… （絵本の読み聞かせやお昼寝の寝かしつけ等）保護者にも小中の子どもの成長を見てもらえる！	2
・ ふれあえる場面 保～中までがふれ合える、ふれ合いタイムを設定し、話したり遊んだりできる空間を作る	5
・ 年長児と小学生の交流 例えば、休み時間等に一緒に遊べることで、社会性の学びがあるのでは？	2
(大きいお兄さんやお姉さんたちにルールを教えてもらったり…)	
・ 休み時間など【工作教室】自由に作ることができる作品の共同制作	5
・ 異年齢きょうだい同士が登園・登校できる良さ	3
・ 年長児と一年生との交流	1
・ 年長児が就学前に1年生と給食が一緒に食べられる。	2
	2
●教職員間での連携	2
【連携できるとよい具体的な内容】	
・ 授業（交流）：中・小の教員の連携	5
・ 保⇄小、小⇄中での先生たちの授業交流	1
・ 多校種の教員が授業を参観しやすくなる	3
・ 保育～中学校まで各年齢の育ちや大切にしているところを共有し保→小→中へとつながていく。	5
・ 保小 子ども（年長児）の良さや特性をつなぐ良かった支援をいかにせるように いつでも聴きに行ける関係	2
・ 特別な支援が必要な生徒の情報の共有（家庭環境も含む）	4
・ 保育園児の様子を少しでも分かるように（情報共有）	1
・ 施設の共有だけで終わってしまう可能性がある。	2
【教師間での交流がしやすい場面・環境づくり】	
・ 子どももそうだけど、先生もね！ 教職員の交流の場（研修以外でも、もっと仲良くなろう） 時間が問題…かも。	2
・ 保小中で互いの教育や成長を知る機会 （自由に授業参観をし、意見交流する）	2
・ こどもの育ちの理解	1
・ 園児、児童、生徒の理解 SC・SSW・CPPとも 家庭環境、支援のあり方⇒つなげる	1
・ 児童・生徒理解：定例職員会、研修	5
・ 職員会等を保小中でどのように行うか？	2

●子どもと教職員との関係のあり方	2
・自分の校種でない子どもとの関わり方	2
・小中の生徒が今まで教わった先生に、気軽に話にいける、相談できるふんい気づくり（スペース、機会）	2
●保護者との連携	2
・参観日の時の保護者対応（こん談、時間）	2

2. 教育委員会に協力してもらいたいこと

【保小中一体にむけて】

・保小中一体を行ううえでは、教員の交流も必要 プラスαの教員数が必要	2
・行事等だけでなく、日常を見に来てもらい、子どもの様子や生活を見たうえで、改善していくべきところを職員と共有する。	5

【こどもたちへの支援体制づくり】

・不登校、学校にこられない生徒が学校外で参加できる場所作りと担当してくれる人員の確保（教育研究所的な場所）	4
・北川村に！（中芸は…）跡：加領郷、田野保育、米ヶ岡	4

【環境に対する支援体制づくり】

・（図書館設置の場合）図書館司書を雇う	3
・学校環境整備 草刈り等 → 地域ボランティア定期的に	1

【村外との連携体制づくり】

・村外の中学生と関わる機会を作る 新しい関係をつくる力	2
・村外の人に自分たちの活動を発表する機会をつくる	1
・他の市町村、県とのつながり（修学旅行、視察）	5
・地域内外の人と関わる時のツール（使い方も） 小中などではそろっているが、関わりたくても機器がなかったり 使い方がわからなかったり…。直接対面できるときはいいが…。	5
・村外から来た人とのつながりは	
・まず、北川村フィールドワーク	
・特産品、ゆずの収穫	5
・村外から来た人からの情報も得る	
・地域の伝統、ゆず等の学習	5
・職場体験	5
・企業との連携	5
・海外（県外）派遣	5

3. 地域で協力してもらいたいこと

【少人数に対して】

- ・ 中学の人数減り、教員も減り、専門の先生に教えてもらえなくなる 1
- ・ 学級の人数を維持して、教育効果を維持したい 1
- 保小中一体 → 広域中学校の議論

【学校教育への支援・参画】

- ・ 総合、その他の教科でも、地域人材を生かした授業でのつながり 5
- ・ いろいろな体験活動 4
- ☆人との関わりをもっと！ 食育、昔遊び、総合、生活科
- ・ 北川学で協力 連携 1
- ・ 地域の方との関わり 5
- 昔ながらの遊びや物づくり 高齢者の名人に教えてもらう学習
- ・ (地域と一体の図書館で) 読み聞かせ 地域ボランティア 3
- ・ 延長保育の時間に、地域ボランティアの方と一緒に遊ぶ中で 2
- いろんな昔遊びを教えてもらえたら いろいろな方と触れ合う機会
- ・ 登下校だけでなく、放課後の子ども達の見守りに協力してもらう。 2
- ・ 運動場で ・ 放課後子ども教室で
- ・ 統合や行事等で協力してくれる人・内容の人材バンクリストの作成 2

【地域行事へのこどもたちの参画】

- ・ 地域行事 ・ マラソン ・ ボランティア (地域の施設：ゆずの花) 5
- ・ 保育所 (夏休み、お手伝い)
- ・ 地域の方との関わり 祭りなどで何か発表できる場を！！ 5

4. 施設への要望

●保小中一体にむけて

【保小中のメリットをいかすための計画】 3

- ・ 屋外へでなくても移動ができる設備 3
- ・ 今ある施設配置にこだわらず、今ある土地にどのように配置すべきか、ベストを考える。(利便性) 2
- ・ 教室の近くにオープンスペース (異年齢・地域交流) 3
- ・ 様子が見える 4
- ☆他の子から刺激がもらえる → がんばろう！期待！
- ☆保小 (低) が使える中庭、広い運動場

【保育環境】

- ・ 保育園は、小学生の様子が隣から見られる環境 あこがれを持つ 2
- ・ 保育の隣接が良いが、いつでも関われる環境 2
(発達に応じた環境の保障)
- ・ 場所（園庭など）の確保 5

【異年齢への懸念】

- ・ 休み時間に遊ぶ時、保～中ほどの年齢幅があるとキケンではないか 2
専門的に使うのは、どの学年から？
→ そこに合わせて考えてはどうか？
- ・ 理科室、家庭科室など、共同で使う教室の中の机やイスなどの 2
サイズは、どうするのか（階段、棚など…） 色
- ・ 小学校のグラウンドだと、中学校には狭くて、走るのが難しい。 1

●学び環境

- ・ オープンすぎない教室や空間 1
(そのときどきで簡単に換えられるようにしたい)
- ・ チャイムが違う 1
授業中だけど、外がうるさくなると集中できない子が多くいる。
- ・ 教科専用教室 ALT、CIR、ICTルーム（リモート可能） 1
小中で使えるよう、できれば複数
- ・ 個別対応ができる部屋（複数）（小さくても可） 3
- ・ 教科用の教室や準備室が必要 1
- ・ 子どもや教職員が気軽に話したり、勉強しあえるスペース 1
- ・ 保小中、地域の人が活動できる広い場所がほしい 3
＝図書館（村）、ワークスペース、作業場、調理室
- ・ 図書館には、交流スペースと個別スペース→ それぞれを確保 3
- ・ 教室に直接日光が入りすぎ。ひさし必要 1

●生活環境

- ・ 教室に入りづらい児童・生徒への対応を行う部屋 5
- ・ ホール 冷暖房があり◎ だけど、個別支援が必要な児童・生徒への 4
対応 → 天井が高ければ
- ・ 給食室を新しく 検収室：専用室ほしい、下処理室（3層シンク） 4
雨もりとかもある。保・小・中 ランチルーム
- ・ トイレ洋式も 1
- ・ トイレ 個室（男も）洋式 安心 1
- ・ 掃除がしやすい 1

●運動施設

- ・みんなが使える体育館 4
- ・保小中が一緒に使う施設の工夫 4
 - ・運動場（保小遊具、小中）・体育館 ・プール
- ・体育館の用具置き場を校種や使用目的に応じて、分けられるようにしてほしい。 部屋数を増やす or 広くして整理しやすくする 2
- ・体育館充実 1
 - バリアフリー 観客席 文化的・体育的 地域の方も使用
- ・観戦する場所 必要 1
- ・体育館に行くのに、公道にでるのは危険 すぐに改善 1
- ・体育館 ・車道を通っていく危険 ・上履きをもって移動 4
 - すぐ行けるような体育館
- ・体育館に低鉄棒がほしい 1

●職員執務環境

- ・職員室広いスペース 1
- ・合同職員室（会議スペース） 小職員室 5
- ・くつろげるトイレ（パウダールーム、歯磨きができる） 5

●地域施設との関係 一体化

- ・地域の人と共に活動ができるスペースの活用 3
- ・村立図書館（と学校との関係） 3
- ・保小中としてではなく、村と学校の共有できることは何かを考えることも大切 ・村と図書館、・婦人会等に給食センター利用OK 2
- ・プールの一般利用OK年寄りの健康増進、
- ・技術室等の機会の村との共有（備品等）

●防災への配慮

- ・地震・津波（海から、山から、ダムから）に対応できる施設 1
- ・体育館は避難所にもなるので、エアコン設置 1
- ・内階段は2箇所必要か 安全上 1

案

北川村における民間と連携した
文教施設・子育て教育環境等整備事業に関する
サウンディング型市場調査実施要領

1. 調査名称

北川村における民間と連携した文教施設・子育て教育環境等整備事業に関するサウンディング型市場調査

2. 調査対象

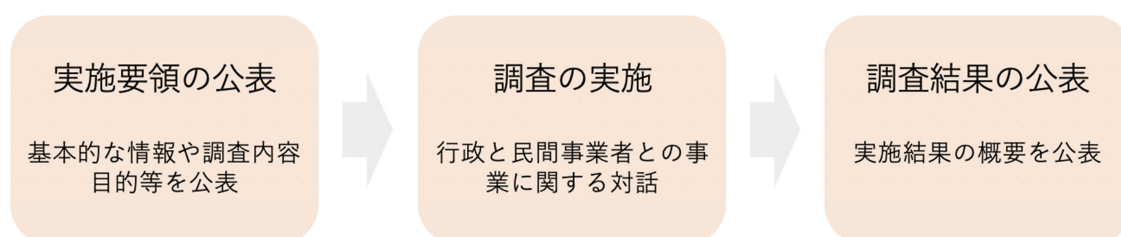
- ・ 保育所・小学校・中学校その他地域にとって必要な施設（ハード面）
- ・ 子育て教育ビジョン実現する上で必要な教育サービス（ソフト面）
- ・ ハード面・ソフト面を実施する上での資金調達手法

3. 調査目的

北川村では、令和2年度から子育て教育ビジョンを策定し、0～15歳までの15年間の一貫した教育で誰ひとり取り残されず学ぶことができる魅力的な環境を創るため、保育所・小中学校・地域等が一体となって子育て教育環境の整備に取り組んでいます。令和3年度は子育て・文教エリアの魅力ある環境整備として、保小中や地域が一体となった施設や子育て教育ビジョンを実現するための必要な教育サービスの提供方法などについて検討を行っています。

本調査では、調査対象にあるとおり、ハード面だけではなく、ソフト面そしてその両面を実施する上での資金調達手法について、幅広く官民連携手法を取り入れる多様なPPP/PFIの導入検討をしています。今後、民間事業者の意見を取り入れて基本計画を策定するために、幅広く民間事業者の意見をヒアリングすることを目的として本サウンディング調査を実施します。

4. 調査のスケジュール



時期	内容
令和3年10月28日（木）	サウンディング調査の実施要領を公表
令和3年10月28日（木）～11月30日（火）	サウンディング参加申し込み期間

受付次第、随時先方に連絡	サウンディングのための実施日時及び場所の連絡
令和3年11月15日(月)～12月3日(金)	サウンディング実施期間
令和3年12月中旬頃	調査結果概要の公表

※各日程について、教育委員会開庁時間外は対応できません。

※教育委員会開庁時間は、土日休祝日を除く平日の 8:30～17:15 です。

5. 意見アイデアを求める内容

以下の(1)～(5)のうち、ご意見やアイデア、ご質問があるものについてサウンディングシートにご記入ください。また、(1)～(4)について、これまで取り組まれた事例や成果がございましたら、資料の添付もしくはサウンディングシートにご記載ください。特段記載がない項目があっても、問題ありません。

(1) 文教施設・子育て教育環境等整備の方向性について

【考え方】

北川村では、保育所、小学校、中学校を複合化し、図書館的な機能を持った空間や広場・公園機能を持った空間、トレーニングルーム、サテライトオフィスなども併設する可能性を探っています。また、北川村では「千人の家族が子どもを育むゆず王国北川村」を目指すべき村の姿にしており、地域ぐるみの教育のあり方も検討しています。下記の項目についてご意見・アイデアをお聞かせください。

【項目】

- 1 複合化のメリット・デメリットについて
- 2 複合化を実現する上での課題について
- 3 地域ぐるみの教育環境のあり方について

(2) 本整備における官民連携の可能性について

【考え方】

村では、文教施設・子育て教育環境等整備において、PFI を含めた官民連携手法を採用できるかどうかを検討しています。本事業における官民連携手法を実現する上での課題や可能性についてお聞かせください。

【項目】

- 1 複合化を実現する最適な事業手法（従来方式、PFI、リースなど）について
- 2 事業期間（官民連携手法の場合）について

(3)北川村で展開できる教育サービスについて

【考え方】

北川村では、英会話サービスや公営塾など民間事業者様との連携による教育環境の充実を進めてきました。今後、より充実した教育サービスを提供するために、教育サービス分野における官民連携の可能性をお聞かせください。

(4)多様な官民連携を実施する上での資金調達について

今後、文教施設・子育て教育環境等整備を進める上で、資金調達について幅広く検討しています。下記の項目について、幅広くご意見をお聞かせいただきたいと思います。

【項目】

- ・企業版ふるさと納税をしていただく場合に北川村に望む内容について

※幅広く民間事業者様からのアイデアを聞く目的であるため、アイデアを出すことで民間事業者様が必ず企業版ふるさと納税をしなければならないというわけではありません。

- ・その他多様な資金調達方法について

(5)その他

本事業への参画に係る条件、北川村への要望等があればお聞かせください。

6. 留意事項

(1)本調査に関する費用

本調査への参加に要する費用(書類作成、対話への参加費用等)については、参加者の負担とさせていただきます。

(2) 参加及び提案内容・対話の取扱い

今後、本事業に関する事業者公募を実施する場合、本調査への参加実績が優位性を持つものではありません。ご提案及び対話の内容は、今後の検討において参考とさせていただきます。ただし、双方の発言とも、あくまで本調査の実施時点での想定のものであり、今後の進め方等について何ら約束するものではないことを御理解ください。

(3) 事前質問について

サウンディング実施する前に、本実施要領について質問がある場合は、個別に【別紙２】事前質問書に記載をしてご提出ください。

(4) 提出書類の取扱い

- ・提出書類は返却いたしませんので、御了承ください。
- ・サウンディングシート及び補足資料の著作権は、参加者に帰属します。

(5) 調査実施後の意見交換への協力

調査実施後も必要に応じて意見交換や文書照会等をお願いすることがあります。その際には御協力をお願いします。

(6) 実施結果の公表

実施結果は、開催概要・参加事業者数等の実施概要と主な意見について、本村ホームページで公表する予定です。参加者の名称及びノウハウに係る内容は公表しません。

(7) サウンディングの実施方法

オンラインもしくは対面によって実施します。【別紙１】参加申込書に希望する実施方法を記載してください。

(8) 参加除外条件

参加しようとする法人(グループの場合は構成法人のいずれかの法人)又はその役員が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第２条に掲げる暴力団又は暴力団員及びそれらの利益となる活動を行う団体に該当する場合は、公募の対象者として認めないこととします。

7. 連絡先及び担当課

本件の問合せ及び資料等提出先については、株式会社 GPMO（サウンディング業務受託事業者）になります。

■連絡先

（サウンディング業務受託事業者／本調査に関する問合せ及び資料等の提出先）

株式会社 GPMO 官民連携事業グループ

担当：湯川、天米

電話：0877-85-8203

メールアドレス：yyukawa@gpmo.jp

■担当課

北川村教育委員会

担当：百々・西岡

所在地：〒781-6441 高知県安芸郡北川村野友甲 618 番地

電話：0887-32-1223（直通）

メールアドレス：kyouiku@vill.kitagawa.lg.jp

ホームページ：<http://www.kitagawamura.jp/life/dtl.php?hdnKey=1377>

8. 添付書類

- ・【別紙1】参加申込書
- ・【別紙2】事前質問書
- ・【別紙3】サウンディングシート
- ・【別紙4】サウンディングチラシ
- ・【別紙5】複合化イメージスケッチ
- ・【別紙6】北川村子育て教育ビジョン【概要版】

官民連携による文教施設・子育て教育環境等整備 資料3-2 における実現可能性調査(サウンディング)を実施します！

概要

北川村では、「北川村子育て教育ビジョン」において、15歳までに育ててほしい子どもの姿を「ふるさとへの愛着と誇りを持ち学ぶ意欲にあふれ、未来を切り拓く社会性豊かな子ども」と決めました。（【別紙6】参照。）

その取り組みの1つとして、保小中の一体的な取組を実現するために「15年間の一貫した教育で誰ひとり取り残されず学ぶことができる魅力的な環境を創る」ことを目標に掲げています。そのために、保小中の単純な施設の統合ではなく、より多様な施設を併設する複合化を検討しています。さらに、より良い教育環境を実現するために、ハード施設だけではなく、ソフト面である官民連携による教育サービスの充実化も含めて、今年度中の基本計画の策定を目指して総合的に検討をしています。

今後の事業展開に活かすために、民間事業者の皆様からの意見や視点、様々な教育サービスの内容、事業構築をする上での課題などをお聞かせいただくサウンディングを実施します。ぜひ、民間事業者様のご意見をお聞かせください。

本サウンディングの連絡先

株式会社GPMO 官民連携事業グループ
担当：湯川、天米
電 話：0877-85-8203
E-mail：yyukawa@gpmo.jp

関連情報の入手先

北川村 子育て教育ビジョン 
▲これまでの検討過程をHP上で公表しています。
北川村 サウンディング 
▲詳しくは北川村ホームページをご覧ください。

北川村プロフィール

人口：1,232人（2021年7月末現在）
主産業は、「ゆず」を中心とした農業、日本唯一の「モネの庭」マルモッタンなどによる観光産業です。



本サウンディングで意見交換をしたい考え方と内容(イメージ)！

①文教施設・子育て教育環境等整備の方向性について

【北川村の考え方】

北川村では、保育所、小学校、中学校を複合化し、図書館的な機能を持った空間や広場・公園機能を持った空間、トレーニングルーム、サテライトオフィスなども併設する可能性を探っています。また、北川村では「千人の家族が子どもを育む ゆず王国北川村」を目指すべき村の姿にしており、地域ぐるみの教育のあり方も検討しています。各施設が単純に場所ごとに配置されている「足す複合化」ではなく、各施設が連携できる「混ぜる複合化」を検討しています。

▼イメージ図

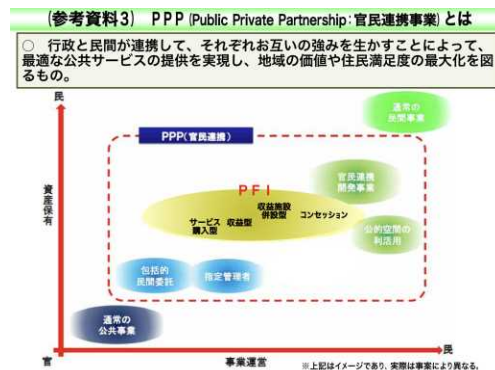


②本整備における官民連携の可能性について (ハード面)

【北川村の考え方】

本整備を進めるにあたり、整備手法について検討を進めています。従来方式、PFI方式、リース方式など様々な官民連携手法を検討していきますので、①における整備の方向性に合致した最適な手法について検討していきます。

イメージ図▶



出所：内閣府HP

③北川村で展開できる教育サービスについて (ソフト面)

【北川村の考え方】

北川村では、化粧品会社と連携した特産品である「ゆず」に関する学習や食品EC会社と連携した食育など民間事業者様との連携による教育環境の充実を進めてきました。今後、より充実した教育サービスを提供するために、教育サービス分野における官民連携の可能性を検討していきます。

▼化粧品会社との連携 (ゆず学習)



▼食品EC会社との連携 (食育)

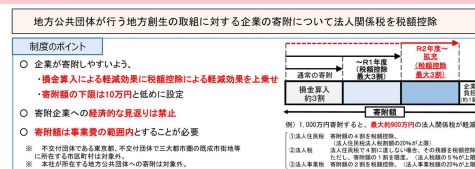


④多様な官民連携を実施する上での資金調達について

【北川村の考え方】

今後、文教施設・子育て教育環境等整備及び教育サービスの充実化を進める上で、資金調達について幅広く検討しています。企業版ふるさと納税やその他多様な資金調達方法について検討していきます。

企業版ふるさと納税



▲企業版ふるさと納税 (出所：内閣府HP)

【寄付額と村との連携案の例】

- 100万円 (実質負担額10万円)
北川村広報誌での会社名掲載と感謝状進呈、会社で開発する新商品や新サービスを保育園から中学校までの授業等で優先的にモニター体験して商品やサービスの開発に活かせる権利
- 1,000万円 (実質負担額100万円)
北川村広報誌での会社名掲載と感謝状進呈、学校に会社名が入った記念碑を設置、併設予定のシェアオフィスの優先使用権 (使用料等諸経費は発生します)

北川村の教育の方向性～長所を伸ばし課題をフォローアップ～

①保小中一体的な体制の整備

- ・保小中15年間を見通して誰ひとり取り残されず学ぶことができる魅力的な環境を創る。
- ・小1プロブレム、中1ギャップをできるだけ抑えた体制を構築する。

北 川 学 園

就学前教育

例) 認定こども園

小中一貫校制度

例) 義務教育学校

北川村の教育の方向性～長所を伸ばし課題をフォローアップ～

保小中一体的な体制で目指したい姿

- 合同行事や校種間交流活動、日常的な保小中間の交流により、小中学校入学時の**段差（小1プロブレム・中1ギャップ）**を抑える。
- 保小中15年を見通した教育活動を通して、**学力や学習意欲、探究心の向上につなげる。（中学校卒業までに全国レベル以上の学力を）**
- **小学生の中学校への憧れ、保育園児の小学校への憧れを育む。**
- 小学生（保育園児）と関わることにより、**中学生（小学生）の自立や責任感を育む。**
- 保小中の教職員同士の情報共有のもと、**効果的な指導に生かすとともに、子どもを多面的に評価し良さを引き出す。（チーム北川）**

認定こども園の概要と保育所との違い

- ★ 1 認定こども園の概要
- ★ 2 保育所と認定こども園の違い
- ★ 3 認定こども園の種類
- ★ 4 認定こども園のメリット



認定こども園の概要

教育・保育を一体的に行う施設で、いわば**幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持っている施設**です。以下の機能を備え、認定基準を満たす施設は、都道府県等から認定を受けることができます。

1

就学前の子どもに幼児教育・保育を提供する機能

(保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に行う機能)

2

地域における子育て支援を行う機能

(すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを行う機能)

保育所と認定こども園の違い

幼稚園

- 幼児教育
- 3歳～就学前の子ども

- ◆小学校以降の教育の基礎をつくるための**幼児期の教育を行う学校**
- ◆利用できる保護者：制限なし

機能
付加

就学前の教育・保育を一体として捉え、
一貫して提供する枠組み

就学前の子どもに
幼児教育・保育を提供

保護者が働いている、いないにかかわらず受け入れて、教育・保育を一体的に実施

地域における
子育て支援

すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談活動や、親子の集いの場の提供などを実施

認可・認定

機能
付加

保育所

- 保育
- 0歳～就学前の保育が必要な子ども

- ◆就労などのため家庭で保育のできない**保護者に代わって保育する施設**
- ◆利用できる保護者：共働き世帯、親族の介護などの事情で、家庭で保育のできない保護者

認定こども園の種類

•幼保連携型

幼稚園的機能と保育所的機能の両方の機能をあわせ持つ単一の施設として、認定こども園としての機能を果たすタイプ

•幼稚園型

認可幼稚園が、保育が必要な子どものための保育時間を確保するなど、保育所的な機能を備えて認定こども園としての機能を果たすタイプ

•保育所型

認可保育所が、保育が必要な子ども以外の子どもも受け入れるなど、幼稚園的な機能を備えることで認定こども園としての機能を果たすタイプ

•地方裁量型

幼稚園・保育所いずれの認可もない地域の教育・保育施設が、認定こども園として必要な機能を果たすタイプ

認定こども園

幼稚園と保育所の機能や特長をあわせ持ち、地域の子育て支援も行う施設

0歳から2歳

- 利用時間：夕方までの保育のほか、園により延長保育を実施
- 利用できる保護者：共働き世帯、親族の介護などの事情で、家庭で保育の
できない保護者

3歳から5歳

- 利用時間：昼過ぎごろまでの教育時間に加え、保育を必要とする場合は夕方までの保育を実施、園により延長保育も実施
- 利用できる保護者：制限なし

認定こども園のメリット

1. 3から5歳のお子さんは、保護者の働いている状況に関わりなく教育・保育と一緒に受けます。保護者の就労状況が変わっても、通いなれた園を継続して利用できます。
2. 幼保連携型認定こども園教育・保育要領を踏まえて教育・保育を実施（保育所型は保育所保育指針に基づくことが前提）し、小学校における教育との円滑な接続が図られます。
3. 子育て支援の場が用意されていて、園に通っていない子どものご家庭も、子育て相談や親子の交流の場などに参加できます。

幼稚園教育・保育所保育・幼保連携型認定こども園における教育と保育の整合性、
小学校教育との円滑な接続に向けて（イメージ）

